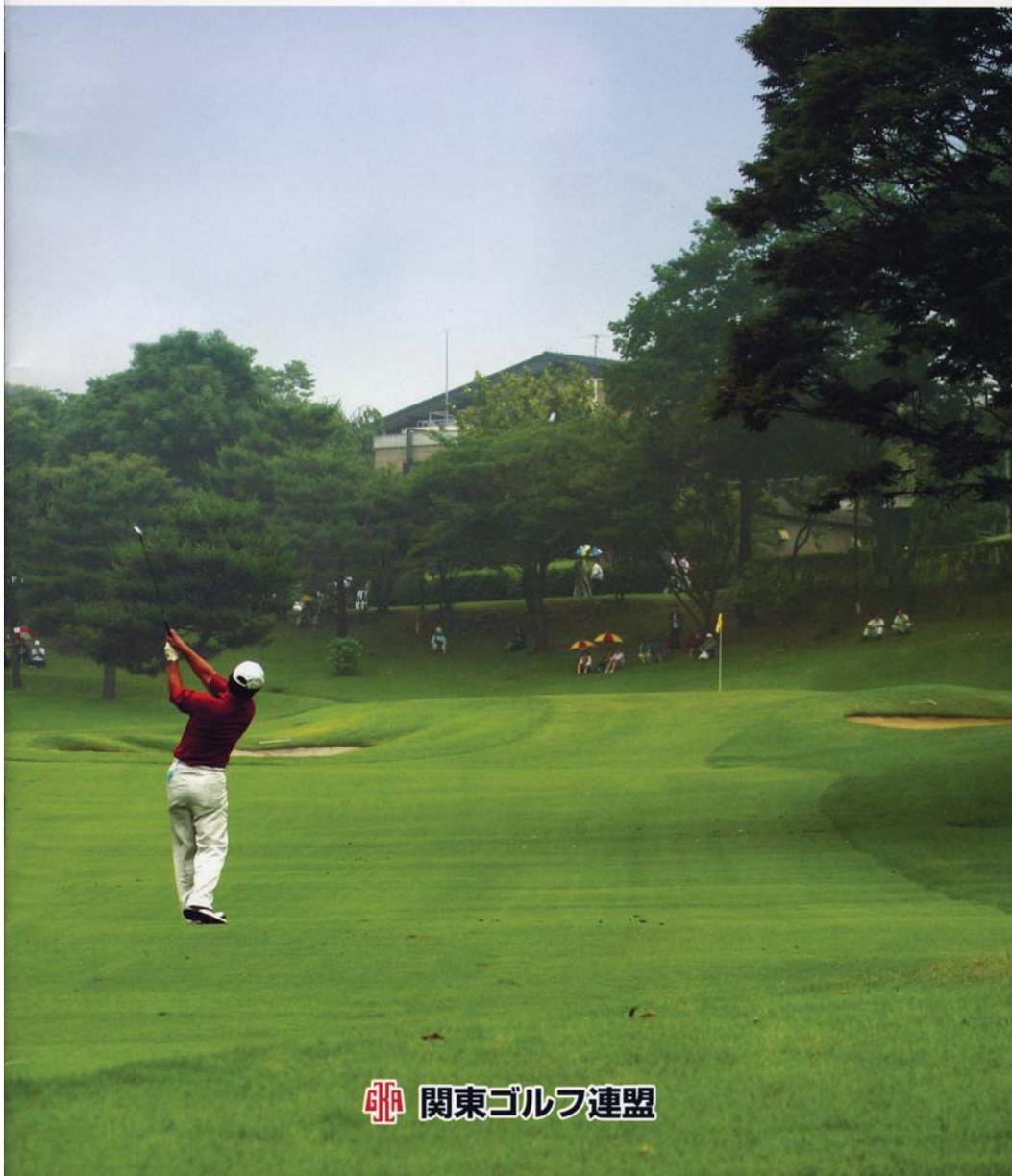


KGANews

2006夏号 No.92
2006年9月1日発行



KGANews 関東ゴルフ連盟

KGANews No.92 2006夏号 2006年9月1日発行

CONTENTS

- 平成18年度 第60回関東倶楽部対抗決勝競技
粘りのゴルフで優勝を飾った
水戸・ゴルフ・クラブ 2
- 平成18年度 関東女子ゴルフ選手権決勝競技
雨中の熱戦、森桜子選手が優勝 9
- 平成18年度 関東グランドシニアゴルフ選手権決勝競技
70歳を過ぎてボールを素直に
打てるようになりました 13
- 特別対談/インタビューー 高橋KGA広報委員長
1都10県の加盟倶楽部の活動状況を聞く——第5回 神奈川県
アマチュア競技の活性化や
ジュニア育成に積極的に取り組む神奈川県 16
- 平成18年度 関東アマチュアゴルフ選手権決勝競技
3年振り、2度目の栄冠に輝く伊藤勇氣選手の成長の軌跡 23
- 平成18年度 関東ジュニアゴルフ選手権決勝競技
4部門の勝者をめぐるジュニアパワーの戦い 27
- 平成18年度 第6回ジュニアゴルフ大会(茨城ゴルフ倶楽部)
暑さを吹き飛ばすジュニアたちの熱戦 32
- 新規加盟倶楽部紹介 34
- 月例競技成績表・お知らせ 40
- 理事会・分科委員会 35



表紙・CONTENTS Photo
紫陽花の花に見守られながらの関東倶楽部対抗決勝競技の熱戦
高坂カントリークラブ
(撮影・伊室一義/KGA広報副委員長)

巻頭の言葉

関東ゴルフ連盟
副理事長 小宮山 義孝



関東倶楽部対抗競技は年々盛会の一途をたどり、参加倶楽部もここへきて毎年増加する一方の状況になってきております。関東ゴルフ連盟の主催する競技が盛り上がっていくのは大変結構なことですが、倶楽部対抗は、今年の決勝出場チームが52倶楽部312名にもものほり、もはや一日の開催競技としては限界にきていると思われまます。

今年の開催は高坂カントリークラブにお願いしたのですが、会場の整備、運営等について多大なるお骨折りを頂き感謝に絶えません。これからも増え続けると予想される倶楽部数に対し、総務委員会でも早急に検討しな

ければならないと思っております。

倶楽部対抗競技についてのもう一つの問題点は、ギャラリー(応援団を含めて)の対応です。

倶楽部対抗競技は、個人戦と違って団体戦です。各倶楽部とも多くの応援団を組織して応援に駆けつけてまいります。

会場となる倶楽部は、こうした応援団に対して大きなテントを用意し、そこで選手とともに食事をしたり、他の倶楽部と交歓したりして、一大コミュニケーションの場となっております。しかしながら大テントにかかる費用も大変なもの聞いております。

そうした問題も出場倶楽部数とともに検討していかねばならない問題と思っております。皆様のご協力をお願い申し上げます。

■平成18年度 第60回関東倶楽部対抗決勝競技

粘りのゴルフで優勝を飾った 水戸・ゴルフ・クラブ

——21回目の決勝進出を果たした水戸・ゴルフ・クラブの意地と誇り——

文／西澤 忠(KGA広報委員)
写真／伊室一義(KGA広報副委員長)・片山晴美・塚越克一・増田 収(KGA広報委員)



優勝した水戸・ゴルフ・クラブチーム

第1回大会が程ヶ谷カントリー倶楽部で開催されたのは昭和9年(1934年)、わずか8倶楽部80名の選手を集める大会だった。優勝したのは開催倶楽部の程ヶ谷カントリー倶楽部で、そこには鍋島直泰、石井光次郎など日本ゴルフ界の草創期に活躍した錚々たる顔ぶれが揃っていた。戦前の関東エリアには8倶楽部ぐらしかゴルフ場がなかったからだが、〈倶楽部相互の親睦と友情を確かめる親善マッチ〉としての大会モットーを掲げる有意義な大会だった。

それが以来72年の時をへて、今年は60回目の節目を迎えた。参加倶楽部も急増し、史上最

高の52倶楽部、312名もの選手が梅雨真っ只中の埼玉県にある高坂カントリークラブに集結した。戦前の一部特権階級によるゴルフが生涯スポーツとして大衆化され、〈倶楽部相互の親善マッチ〉という基本理念をそのままに、今や〈アマチュアゴルフの祭典〉として大輪の花を咲かせたといえるのだろう。

選手のハートを襲う団体戦の重圧

会場の高坂CCで開かれるのは、平成6年(1994年)以来12年ぶり。A・Bにクラス分けした156



選手も真剣ならキャディーさんも真剣



パーパットを決めて応援団からも拍手



チームの期待を担って慎重な一打

名ずつが2コースに分かれるため、36ホールを持つコースに会場に限られる。米山コース、岩殿コースのアウト・インから早朝7時30分、いっせいに78組がスタートする光景は圧巻だった。

しかし、この試合ほどゲームの流れを読むのが難しいものはない。各倶楽部の代表選手がスタート表の中に分散され、プレーを通じて親睦を深めるのを目的としているからだ。「うちのX選手はアウト9ホールを36のパープレーしたぞ!」という声が聞こえると、後半のスタートホールに応援団が集まる。「一緒にプレーしたY倶楽部の選手は不調で、4オーバーを叩いたらしい」との声が囁かれると、その選手のシ

ョットには静寂が訪れる。応援団はハウス周辺のティーインググラウンドとグリーンの間を彷徨って、ゾロゾロと歩くしかない。

関東エリアといっても1都10県の広い地域なので、埼玉県の会場までは遠い倶楽部もある。選手の側からすると、倶楽部の代表として恥ずかしくない成績を残そうとする。普段のゲームとは格別に違う団体戦のプレッシャーが選手のハートを襲っているはず。反面、朝暗いうちから大型バスで駆けつけた応援団は各自の用意されたテント村で、ご馳走や飲み物を並べて宴会ムードもある。まさに、コース上の緊張と野外ピクニックの賑やかさが同居した雰囲気なのだ。



激戦の相手も戦い終わればノーサイドだ



さて、どうやって打つか――



嬉しい、まいったなぁ……



選手の健闘を称え拍手する応援団の皆さん

安心できない2、3打差のリード

6月26日、熊谷気象台が発表した気象情報は、小雨、気温23.2度、湿度80%、東北東の風1m/sだったが、まさにムシムシする梅雨そのものの気候。

そんな中で、今大会最年長者、76歳の矢島正一（東松山）選手は半ズボン姿で元気にプレーしたのが爽やかで、印象的だった。エージ・シュート40回余というベテランは平成12年（2000年）の日本グランドシニア選手権優勝者、なんともプレー慣れた姿だった。倶楽部の成績は28位と振るわなかったが、観るものに“あの歳

まで選手でいられるの羨ましい”と思わせたに違いない。

さて、競技の進行状況を知るのが難しいといったが、12年前から導入されたテレビによる競技スコア速報がコンピュータに変わり、会場各所に成績速報モニターが設けられているので、倶楽部単位のスコアが随時に分かる。

午前の9ホールが終わった時点の成績を記すと、

- 1位 袖ヶ浦CC 11オーバー-227ストローク
 - 2位 水戸GC 13オーバー-229ストローク
 - 3位 新千葉CC 14オーバー-230ストローク
- という大接戦だった。日本アマ界のリーダー

21回目の正直！ 初優勝の水戸GC・根本キャプテンに聞く 怒らない耐えるゴルフを！

――優勝おめでとうございます。

「とにかくウレシイ！歴史ある倶楽部だけに20回も決勝に進出しておきながら、一度も勝てなかったのだから。今回の選手は昨年とほとんど同じですが、昨年の14位を反省して、何回も合宿して団結力を高めました。チーム戦はだれか一人でもソッポを向いたら、まとまらない。その意味では今回の選手は一致団結してくれましたね」

――“水戸っほ”の心意気ですか？

「水戸っほというと理屈っぽい、頑固だが飽きっぽいと思われがちですが、選手には、怒らない、耐

えるゴルフをしよう！と
いい続けました。おかげ
で、1打の重み、大切さ
を肝に銘じてくれたのが
勝因でしょう」



――会社の経営が変わったのに、応援団も積極的だった？

「“関東の水戸GC”の名を世間に知らしめる意味では会社もメンバーも応援してくれました。地味なクラブ・カラーですが、プレザーも研修会で新調して、やる気来た甲斐がありました。コースを万全にしてくれたスタッフや大会関係者にも感謝します。ありがとうございました」

聞人/西田美千子（KGA広報委員）

的存在の阪田哲男選手が率いる袖ヶ浦CCは彼の1バーディ・1ボギー-36が効いて、トップに立ったのだ。

しかし、6名のトータル・スコアとなると、瞬時に順位は入れ替わるもの。トップと2打差、3打差はあってなきがごしのリードなのだ。

結論を先にいえば、昨年の決勝出場で20回目という記録で表彰された水戸GCが「団結力のおかげです」（根本太寿キャプテン）との言葉通り、最後まで諦めない粘りのゴルフで、1打差で新千葉CCの猛追をかわした。

午後のラウンドに入って、袖ヶ浦CCは阪田選手が4オーバーの40を叩いたこともあって、大

きく後退。最終的には38オーバーの470ストロークで、6位に終わった。

最後までもつれた優勝争い

優勝争いをした新千葉CCと水戸GCの戦いは最後までもつれた。新千葉CCのAクラス、大山四郎選手が後半9ホールを2アンダーとし、トータル72で上がるし、Bクラス、伊藤和久選手は38・37の75、金岡治久選手も39・37の76と好調で、水戸GCにとってはハラハラ・ドキドキ

神奈川県倶楽部対抗予選 に女性選手出場



予選競技に唯一人女性の出場が話題になった。その選手は小田原GC・松田コースの高橋香雅選手（1971年1月11日生まれ）

同選手は昨年に続き2度目の出場。当日は風が強く苦戦の中、男性と互角の戦いをし好スコアで回った。（同倶楽部は4位で決勝進出ならず）

（組合せでは他倶楽部から出場の父親（Bで出場）と同組で回るがハブニングあり……特別に変更）
ゴルフを始めたのは21歳からと遅かったが13年目（2004年）に日本女子ミッドアマ優勝、昨年は3位T、毎年日本女子アマに出場する強豪選手。今後の抱負は倶楽部チャンピオンになること。平均飛距離は220㍎、ベストスコアは66（小田原GC）。



テント内のテーブルには美味しそうなお馳走が……



高坂CC森川理事長に
ペナントを授与



Aクラスメダリスト
山下選手



Bクラスメダリスト左から
角田(東千葉)、柳澤(袖ヶ浦)、中野(富士・笠間)の3選手

の終盤だったのだ。大山選手は2000年の日本シニア選手権で4位に入った実績ある選手だけに、あわや逆転か?と思わせた。

しかし、21回目の決勝進出、これまでに2位に泣いた経験が2回ある水戸GCには意地と誇りがあった。

Aクラスの平沢良雄選手が72のパー・プレー、Bクラスの木名瀬和重選手もアウト41の後、イン36と盛り返してトータル77。ただし、Bクラスの期待された中村憲二選手が後半を41と崩れて、トータル79は誤算だった。その分を、地元中央学院大ゴルフ部で監督を務める河内喜文選手が踏ん張って75、優勝の行方はAクラスの最終組をラウンドする中村清選手の双肩にかかってしまう。中村選手は1994年の関東アマ選手権優勝、2002年の日本ミッドシニア選手権にも優勝しているベテランのトップ・アマとして知られるだけに、前半39で折り返した後半、上がり3ホールをパー・パー・ボギーとしたが37、トータル76でフィニッシュしたのだ。これで、前

舞台裏の苦勞話
氣を遣った
競技当日までの
あれこれ

武田栞雲
(高坂カントリークラブ支配人)



今回で3回目(昭和56年、平成6年)の開催ですが、伝統あるこの競技の会場として提供するにあたり、各部門から責任者を出して協議を重ねてまいりました。

まずはキャディー問題がございました。武蔵CC、大宮GC、鳩山CCから合計19名の応援を頂き、コースを覚えてもらうために4~5回にわたり勉強してもらいました。

つぎに駐車場問題です。第1、第2駐車場のほかに米山、岩殿の中間地に第3~第6駐車場を作り、800台収容の駐車場を用意いたしました。

それから朝食ですが、当初各倶楽部から予約をとったところ、はるかに500食を超えてしまいましたので、1倶楽部10食に限定させて頂きました。また急遽、配膳協会より10名のウェ이터に来て頂き、何とか円滑に対応できました。

このほかギャラリープラザのテント設営を前日の朝から始め、ここには1,000名以上の応援団が駆けつけてくれました。

当日は怪我などの事故もなく、無事終了することができました。梅雨どきの曇り空から時折小雨がバラつきましたが、フェアウェイ、グリーンなど良好な状態のもとで、ご満足頂けたと思っております。

最後に選手、関係者、そしてボランティアの皆様のご協力を心より御礼申し上げます。

半の1打差をキープしての初優勝だった。「最後のホールがボギーなのに1打差で勝てたのはラッキーでした!」と中村選手が試合後に笑って答えてくれた。「団体戦はゲームの流れが読めないし、自分のプレーで冒険が出来ない。どちらかといえば「守るゴルフ」になって、苦しいものですよ」という中村選手の言葉がすべての選手の偽らざる心境だったろう。

平成18年度 関東倶楽部対抗決勝競技成績表

●開催日6月26日(月) 開催倶楽部 高坂カントリークラブ
Aクラス 岩殿コース 6,536ヤード パー72
Bクラス 米山コース 6,773ヤード パー72

順位	氏名	合計	アウト	イン	スコア合計
1位	水戸・ゴルフ・クラブ	スコア合計456			
Aクラス	平沢 良雄	72	35	37	
Aクラス	入野 康昭	77	39	38	
Aクラス	中村 清	76	39	37	
Bクラス	木名瀬和重	77	41	36	
Bクラス	河内 喜文	75	37	38	
Bクラス	中村 憲明	79	38	41	
(チーム平均ストローク=76.00)					
2位	新千葉カントリー倶楽部	スコア合計457			
Aクラス	板井 延秋	75	38	37	
Aクラス	土屋 貞雄	80	39	41	
Aクラス	大山 四郎	72	34	38	
Bクラス	今関 和宏	79	41	38	
Bクラス	伊藤 和久	75	37	38	
Bクラス	金岡 治久	76	39	37	
(チーム平均ストローク=76.17)					
3位	鷹ゴルフ倶楽部	スコア合計465			
Aクラス	江原 義夫	75	39	36	
Aクラス	遠山 光男	74	35	39	
Aクラス	山田 昭二	79	39	40	
Bクラス	西田 哲三	75	38	37	
Bクラス	嶋田 茂	84	45	39	
Bクラス	中村 源治	78	38	40	
(チーム平均ストローク=77.50)					
4位	東千葉カントリー倶楽部	スコア合計466			
Aクラス	福田 政弘	79	37	42	
Aクラス	金子 航二	84	44	40	
Aクラス	山田 勲	82	38	44	
Bクラス	農島 豊	75	38	37	
Bクラス	角田 浩博	72	38	34	
Bクラス	室野 秀歩	74	39	35	
(チーム平均ストローク=77.67)					
5位	富士カントリー笠間倶楽部	スコア合計468			
Aクラス	藤崎 和典	76	38	38	
Aクラス	小吹 静寿	80	38	42	
Aクラス	友部 宣之	77	38	39	
Bクラス	館 英樹	75	38	37	
Bクラス	中野 正義	72	36	36	
Bクラス	藤井 勝利	88	41	47	
(チーム平均ストローク=78.00)					
6位	袖ヶ浦カントリークラブ	スコア合計470			
Aクラス	仲松 政美	79	38	41	
Aクラス	林 安雄	79	41	38	
Aクラス	坂田 晋男	76	36	40	
Bクラス	原田 晃	83	41	42	
Bクラス	柳澤 信吾	72	37	35	
Bクラス	水上 晃男	81	38	43	
(チーム平均ストローク=78.33)					
7位	総武カントリークラブ	スコア合計473			
Aクラス	上重 修	76	36	40	
Aクラス	中野 貞直	79	38	41	
Aクラス	白井 敏夫	76	37	39	
Bクラス	杉山 健	76	37	39	
Bクラス	伊藤 尚	86	43	43	
Bクラス	豊嶋 義明	80	45	35	
(チーム平均ストローク=78.83)					
8位	武蔵カントリークラブ	スコア合計477			
Aクラス	森永 正隆	80	39	41	
Aクラス	岩坂 文一	78	38	40	
Aクラス	山口 現樹	74	37	37	
Bクラス	杉山 辰彦	80	38	42	
Bクラス	小林 勝美	82	41	41	
Bクラス	内野 秀治	83	44	39	
(チーム平均ストローク=79.50)					
9位	スプリングフィズゴルフクラブ	スコア合計478			
Aクラス	三瓶 幸博	83	41	42	
Aクラス	新谷 満	80	38	42	
Aクラス	寺村 義美	75	38	37	
Bクラス	渡辺 幹根	82	43	39	
Bクラス	高島 吉重	77	39	38	
Bクラス	大山 和則	81	40	41	
(チーム平均ストローク=79.67)					
10位	扶桑カントリー倶楽部	スコア合計478			
Aクラス	石田 俊男	86	42	44	
Aクラス	寺田 湧一	77	39	38	
Aクラス	山下 勝紀	71	37	34	
Bクラス	染谷 健市	83	42	41	
Bクラス	加藤 浩	82	43	39	
Bクラス	日暮 俊明	79	41	38	
(チーム平均ストローク=79.67)					
11位	フォレストカントリー倶楽部	スコア合計480			
Aクラス	石井 清栄	80	39	41	
Aクラス	白根 幸雄	85	41	44	
Aクラス	高橋 正秋	77	36	41	
Bクラス	松本 重光	80	39	41	
Bクラス	高月 晋基	79	41	38	
Bクラス	松本 成光	79	39	40	
(チーム平均ストローク=80.00)					
12位	習志野カントリークラブ	スコア合計481			
Aクラス	鈴木 元剛	89	44	45	
Aクラス	高橋 功	81	41	40	
Aクラス	岩井 正一	78	37	41	
Bクラス	岡本 聡	80	40	40	
Bクラス	滝沢 泰三	78	40	38	
Bクラス	宮 辰夫	75	37	38	
(チーム平均ストローク=80.17)					
13位	長野カントリークラブ	スコア合計481			
Aクラス	宮澤 亮三	85	45	40	
Aクラス	藤原 力	76	36	40	
Aクラス	黒岩 護	80	39	41	
Bクラス	松山 隆	82	41	41	
Bクラス	伊藤 雅章	78	41	37	
Bクラス	広田 文雄	80	38	42	
(チーム平均ストローク=80.17)					
14位	伊勢原カントリークラブ	スコア合計483			
Aクラス	帖佐 寛巳	81	41	40	
Aクラス	原 秀定	77	37	40	
Aクラス	奈良 重一	78	36	42	
Bクラス	柳下 和茂	87	44	43	
Bクラス	伊田 伸一	76	39	37	
Bクラス	大谷 一夫	84	39	45	
(チーム平均ストローク=80.50)					
15位	水戸グリーンカントリークラブ	スコア合計483			
Aクラス	大輪 広明	83	42	41	
Aクラス	杉本 重	78	41	37	
Aクラス	安島 大三	82	43	39	
Bクラス	中村 守	77	40	37	
Bクラス	木村 利治	77	40	37	
Bクラス	宇留野 彰	86	41	45	
(チーム平均ストローク=80.50)					
16位	寄居カントリークラブ	スコア合計486			
Aクラス	川上 秀男	78	39	39	
Aクラス	金丸 保	81	38	43	
Aクラス	矢島 秀生	82	40	42	
Bクラス	小野太佳司	84	42	42	
Bクラス	田中 良博	79	40	39	
Bクラス	大日 健	82	41	41	
(チーム平均ストローク=81.00)					
17位	小川カントリークラブ	スコア合計487			
Aクラス	波崎 正昭	82	41	41	
Aクラス	松井 勝利	85	42	43	
Aクラス	宮下 邦一	78	38	40	
Bクラス	中田 辰悟	79	38	41	
Bクラス	宮本 清	78	39	39	
Bクラス	小宮健次郎	85	45	40	
(チーム平均ストローク=81.17)					
18位	大熱海国際ゴルフクラブ	スコア合計487			
Aクラス	下山 貴	77	36	41	
Aクラス	金谷 肇吉	84	42	42	
Aクラス	向笠 照夫	77	39	38	
Bクラス	井端 和生	81	41	40	
Bクラス	宮本 博尊	82	45	37	
Bクラス	手塚 哲秀	86	44	42	
(チーム平均ストローク=81.17)					
19位	赤城国際カントリークラブ	スコア合計488			
Aクラス	吉田 隆光	85	40	43	
Aクラス	長津 照味	84	41	43	
Aクラス	金山 義行	82	36	46	
Bクラス	武井 茂幸	75	37	38	
Bクラス	関 徹也	83	45	38	
Bクラス	高橋 恒人	79	41	38	
(チーム平均ストローク=81.33)					
20位	船橋カントリー倶楽部	スコア合計489			
Aクラス	白井 剛	84	41	43	
Aクラス	原田 英治	86	43	43	
Aクラス	藤賀 義昭	79	39	40	
Bクラス	深沢 勝彦	81	41	40	
Bクラス	金田幸一郎	78	40	38	
Bクラス	木村 知道	81	42	39	
(チーム平均ストローク=81.50)					
21位	富士宮ゴルフクラブ	スコア合計489			
Aクラス	羽切 理光	76	38	38	
Aクラス	上杉 好秀	87	37	41	
Aクラス	望月 清	87	41	46	
Bクラス	土井 敦高	80	37	43	
Bクラス	遠藤 和也	79	38	41	
Bクラス	竹内 貴広	89	44	45	
(チーム平均ストローク=81.50)					
22位	チャミング・リゾート藤岡ゴルフ倶楽部	スコア合計489			
Aクラス	永井 彰	76	39	37	
Aクラス	総貫 安一	76	38	38	
Aクラス	加藤 賢	85	42	43	
Bクラス	武田 守雄	87	46	41	
Bクラス	佐藤 晋吾	82	41	41	
Bクラス	嶋島 英之	83	40	43	
(チーム平均ストローク=81.50)					
23位	千葉カントリークラブ	スコア合計490			
Aクラス	伊東 祐次	81	40	41	
Aクラス	瀬川 国秋	76	38	38	
Aクラス	渡辺 圭介	85	43	42	
Bクラス	浜島 佳弘	85	43	42	
Bクラス	鎌木 重男	87	43	44	
Bクラス	館浦 豊	76	38	38	
(チーム平均ストローク=81.67)					
24位	中山カントリークラブ	スコア合計490			
Aクラス	片山 正八	79	39	40	
Aクラス	上代 修二	78	39	39	
Aクラス	大塚 健	82	40	42	
Bクラス	小林 正幸	81	40	41	
Bクラス	吉野 健治	82	42	40	
Bクラス	菅井 隆夫	86	46	42	
(チーム平均ストローク=81.67)					

■平成18年度 関東女子ゴルフ選手権決勝競技

雨中の熱戦、森桜子選手が優勝

——1打にこだわる若手たちと楽しむベテランたち——

文/増田 正(KGA広報委員)
写真/増田 収(KGA広報委員)



雨中の激戦を制した喜びの森選手

平成18年度関東女子ゴルフ選手権決勝競技は、5月17日、18日の両日、箱根カントリー倶楽部(神奈川県)で、133名の出場選手によって争われた。当日は、朝からあいにくの雨に見舞われ、コンディションのよい状態ではなかったが、高校2年(東北高校)の森桜子選手(扶桑)が、金宮美司選手(那珂)、植田希実子選手(大宮国際)の追撃を振り切って優勝した。なお、この大会で27位タイまでの28選手が日本女子アマチュアゴルフ選手権の出場資格を得た。

最後まであきらめなかった森選手

5月半ばを過ぎて箱根の雨は冷たく寒い。そんな悪条件の中、前日、79とやや出遅れた金宮美司選手(那珂)が、前半のハーフをパープレーの36で上がってきた。同様に前日、パープレーの72と快調だった森桜子選手(扶桑)は、2、4、5番でボギーを叩き、3オーバーの39。金宮選手との差は4ストロークと縮まっていた。また前日、森選手とパープレーで首位を分けたベテランの栗原美佐枝選手(小田原松田)は、出だしの1番からダブルボギーを叩き、9番でもトリプルボギーの7を叩いて41、5オーバーと大きく後退した。

後半のインをスタートする時点では、森選手の3オーバーを頂点に、関舞選手(東千葉)の4オーバー、それに植田希実子選手(大宮国際)、

前記、栗原選手の5オーバーが続き、雨で気温も16.2度と下がる中、金宮選手も加わって大激戦が予想された。

インの10番、早速動きがあった。最終組で、「朝から緊張していた」という森選手が、ショートホールの10番で1オンならず。ボギーを叩き、関選手に並ばれ、植田、栗原両選手には1打差。そして佐々木祥子選手(妙高)は2打差、金宮選手には3打差といったぐあいに、追いかける選手達にぐっと差をつめられ、念願の優勝へ強いプレッシャーとなった。

しかし森選手は追いつめられながらも、この日、自分に課した目標を失っていないかった。森選手は、どんな事態になっても、「最後まであきらめないでプレーする」という誓いをたてたが、その誓い通り、12番ではパーディーを奪った。このパーディーによって、1打差まで詰め寄

25位 佐久平カントリークラブ スコア合計491

Table with 4 columns: 氏名, 合計, アウト, イン. Includes players like 加藤 真, 羽田五男, etc.

(チーム平均ストローク=81.83)

26位 鹿沼72カントリークラブ スコア合計491

Table with 4 columns: 氏名, 合計, アウト, イン. Includes players like 橋本 光幸, 柴山 明夫, etc.

(チーム平均ストローク=81.83)

27位 府中カントリークラブ スコア合計491

Table with 4 columns: 氏名, 合計, アウト, イン. Includes players like 田村 昌三, 鈴木 正治, etc.

(チーム平均ストローク=81.83)

28位 東松山カントリークラブ スコア合計491

Table with 4 columns: 氏名, 合計, アウト, イン. Includes players like 秋保 一孝, 北原 富貴, etc.

(チーム平均ストローク=81.83)

29位 相模原ゴルフクラブ スコア合計492

Table with 4 columns: 氏名, 合計, アウト, イン. Includes players like 今井 喜平, 伊藤 仁, etc.

(チーム平均ストローク=82.00)

30位 東京ゴルフ倶楽部 スコア合計493

Table with 4 columns: 氏名, 合計, アウト, イン. Includes players like 諸橋 泰, 都倉 俊一, etc.

(チーム平均ストローク=82.17)

31位 十日町カントリークラブ スコア合計493

Table with 4 columns: 氏名, 合計, アウト, イン. Includes players like 小林 良一, 須長 順一, etc.

(チーム平均ストローク=82.17)

32位 チャーミングリゾート関越ハイランドゴルフクラブ スコア合計493

Table with 4 columns: 氏名, 合計, アウト, イン. Includes players like 森田 和男, 本藤 利一, etc.

(チーム平均ストローク=82.17)

33位 ゴールデンレイクスカントリークラブ スコア合計494

Table with 4 columns: 氏名, 合計, アウト, イン. Includes players like 矢吹 充良, 峰岸 佳三, etc.

(チーム平均ストローク=82.33)

34位 御殿場ゴルフ倶楽部 スコア合計494

Table with 4 columns: 氏名, 合計, アウト, イン. Includes players like 徳永 博明, 橋本 克己, etc.

(チーム平均ストローク=82.33)

35位 穂高カントリークラブ スコア合計495

Table with 4 columns: 氏名, 合計, アウト, イン. Includes players like 小坂久仁規, 勝家 哲夫, etc.

(チーム平均ストローク=82.50)

36位 ロイヤルオークカントリー倶楽部 スコア合計496

Table with 4 columns: 氏名, 合計, アウト, イン. Includes players like 小坂橋知彦, 立石 真一, etc.

(チーム平均ストローク=82.67)

37位 那須小川ゴルフクラブ スコア合計497

Table with 4 columns: 氏名, 合計, アウト, イン. Includes players like 見山 寛平, 近藤 一之, etc.

(チーム平均ストローク=82.83)

38位 茨城ゴルフ倶楽部 スコア合計498

Table with 4 columns: 氏名, 合計, アウト, イン. Includes players like 富田 文雄, 山田 義基, etc.

(チーム平均ストローク=83.00)

39位 下野カントリークラブ スコア合計500

Table with 4 columns: 氏名, 合計, アウト, イン. Includes players like 北山 芳, 藤城 悠, etc.

(チーム平均ストローク=83.33)

40位 甲府国際カントリークラブ スコア合計500

Table with 4 columns: 氏名, 合計, アウト, イン. Includes players like 岩波 肇, 小沢 勝, etc.

(チーム平均ストローク=83.33)

41位 戸塚カントリー倶楽部 スコア合計501

Table with 4 columns: 氏名, 合計, アウト, イン. Includes players like 神山 逸志, 本白田敏史, etc.

(チーム平均ストローク=83.50)

42位 芳賀カントリークラブ スコア合計503

Table with 4 columns: 氏名, 合計, アウト, イン. Includes players like 明石 輝雄, 山内 武博, etc.

(チーム平均ストローク=83.83)

43位 車馬ゴルフ倶楽部佐野コース スコア合計503

Table with 4 columns: 氏名, 合計, アウト, イン. Includes players like 東條 保光, 倉岡 保, etc.

(チーム平均ストローク=83.83)

44位 姉ヶ崎カントリー倶楽部 スコア合計505

Table with 4 columns: 氏名, 合計, アウト, イン. Includes players like 高橋 幸司, 山田 美夫, etc.

(チーム平均ストローク=84.17)

45位 塩竈カントリークラブ スコア合計505

Table with 4 columns: 氏名, 合計, アウト, イン. Includes players like 田村 利晶, 吉江 利夫, etc.

(チーム平均ストローク=84.17)

46位 春日居ゴルフ倶楽部 スコア合計506

Table with 4 columns: 氏名, 合計, アウト, イン. Includes players like 矢島 茂, 安部 俊人, etc.

(チーム平均ストローク=84.33)

47位 武蔵野ゴルフクラブ スコア合計511

Table with 4 columns: 氏名, 合計, アウト, イン. Includes players like 青木 茂, 萩島 富雄, etc.

(チーム平均ストローク=85.17)

48位 飯能グリーンカントリークラブ スコア合計514

Table with 4 columns: 氏名, 合計, アウト, イン. Includes players like 宮崎 秀治, 木下 隆, etc.

(チーム平均ストローク=85.67)

49位 高坂カントリークラブ スコア合計517

Table with 4 columns: 氏名, 合計, アウト, イン. Includes players like 細村 武夫, 大野 純仁, etc.

(チーム平均ストローク=86.17)

50位 新発田カントリー倶楽部 スコア合計519

Table with 4 columns: 氏名, 合計, アウト, イン. Includes players like 鈴木 嘉光, 石栗 一久, etc.

(チーム平均ストローク=86.50)

51位 南摩城カントリークラブ スコア合計520

Table with 4 columns: 氏名, 合計, アウト, イン. Includes players like 斎藤 征博, 石栗 一久, etc.

(チーム平均ストローク=86.67)

52位 長岡カントリー倶楽部 スコア合計524

Table with 4 columns: 氏名, 合計, アウト, イン. Includes players like 深田 忍, 石岡 一美, etc.

(チーム平均ストローク=87.33)



新緑を背に森選手のティーショット



2位タイの植田選手(左)と金宮選手

パー、パーと拾っていかば、優勝の可能性は高くなるのだが、箱根CCの17、18番は屈指の難ホールだ。はたしてうまいぐあいにパーでつなぐことができるか。

その危惧が、17番ホールで現実のものとなった。トップを走り続けていた森選手が、この大事な17番で50ヤをはずし、3パットのダブルボギーとつまづいてしまったのだ。ここ

でボギーの植田選手と完全に並んでしまった。2人とも最終ホールでパーを取らなければ、すでに上がっている金宮選手とも並んでしまう。ここで3人によるプレーオフも囁かれ始めた。

しかし、森選手は、「自分でも考えられない」このミス。「18番まで引きずらない」ことに集中し、見事パーで収め優勝の栄冠を手にした。植田選手はティーショットを左へ引っかけ、この一打のために森選手に並ぶチャンスを逸し、金宮選手とともに2位に甘んじた。

このミスで森選手がボギーを叩いて4オーバーにし、植田選手はパーで、その差はふたたび1ストロークに縮まった。その上、金宮選手は前記のようにすでに151で上がっている。勝敗の帰すうは、さらに混迷の度を増していった。残り2ホールを森選手が



最終組の選手のスコア提出とそれを見守る出場者たち



霧と雨の中で熱戦が展開された箱根カントリー倶楽部(3番ホール)

優勝した森選手は、

「18番で相手のスコアがわかっていたらどうなったかわかりませんね。スコアボードがなかったので助かりました。自分のゴルフで最終ホールを上がることができました。最終のパットを沈めて涙ができました」

と優勝の喜びをこう語っている。

ベテラン選手達の珠玉の言葉

こうした若手たちの活躍に対して、ベテラン勢の奮闘も印象的だった。30回出場て表彰された尾関久江選手は「予選を通ると、ホッとします」といっていたが、今回は難関の予選を見事にパス、30回表彰につなげた。

そして尾関選手は、「きょうは雨降りの悪コンディションだが、前回の最終日よりよいスコアで上がることができました」と振り返る。年齢を重ねながらもさらなる前進を目指している証だが、この尾関選手は、若い選手たちにつきのような忠告をするのも忘れない。

「若い人たちは、成績ばかりに目がいらっているのではないのでしょうか。ゴルフを通じて友達

露木直子選手 ホールインワン



この大会の第1日目、露木直子選手(東名厚木)が、10番ホール(165ヤ)で、見事にホールインワンを達成した。この日、露木選手はインからのスタートだったので、最初の1打でエースを決めたもの。当たったと

きのフィーリングは良く、同伴競技者の1人から「これはホールインワンよ」という声に押されるようにボールはカップに姿を消した。露木選手にとっては、これが公式戦3度目のエースだが、ギャラリーや関係者が大勢見ている前でのホールインワンだけに、「嬉しさも格別」と大喜びだった。

がたくさんできることに喜びを感じ、プレーできる幸せを両親に感謝することをまず頭に入れてもらいたいですね」

若い選手たちにとっては、耳が痛いかもしれないが、ゴルフの素晴らしさを語りかける言葉として、素直に受け取ってもらいたいものである。

原田町子選手(習志野)は「雨のゴルフは嫌いですが、この日のコンディションを残念がっていたが、15回表彰には思わず笑みももらえる。

原田選手は「きのうは15歳と18歳の選手と一緒にでした。あまり若いんで、こちらはギャラリーみたい。若い選手たちの柔らかい打ち方は真似できませんね。でも一緒にまわってみて楽しかったですよ」とギャラリーと同じ視点で若い選手を見る余裕をこう語る。

また長瀬万寿選手(東京)と松野信子選手(東松山)と山口八重子選手(姉ヶ崎)は10回出場表彰を受けた。

長瀬選手は「コースセッティングが難しくなっていますが、若い人たちのプロ狙いとは違ってこれからもアマチュアの楽しみを満喫していきたいと思っています」と語る。長瀬選手のい

うアマチュアの楽しみとは、競技の緊張感を肌で感じ、友人との会話を楽しむことだという。

山口選手は練習の虫で通っている。週2回は練習場へ行き、1回につき300~400球くらい打つ。その山口選手は「来年が10回出場にあたるかなと思っていただけに、表彰を受けるなんて感慨無量です。せっかく10回出られたんですから、これから3年連続して出られるよう頑張りたいです。3年後は70歳の節目ですから」と10回出場表彰の感想をこう語る。

いずれにしても、若い選手たちが、一様に「プロを目指します」とはっきり意志を示して、1ストロークにこだわりながら戦っているのに対して、尾関選手をはじめとする10回以上出場して表彰された選手たちは、心からゴルフを楽



30回出場の尾関選手（中央）と祝福する加藤競技副委員長（右）。左は吉田理事長、右端は野口KGA競技委員長。

しんでいるという感じなのである。

まさに好対照といった構図だが、若くて、前途ある選手たちも、アマチュアゴルフの素晴らしさをベテランプレーヤーから見習ってもいいのではないかと。プロを目指すのは、それからでも遅くはない。

平成18年度関東女子ゴルフ選手権決勝競技

●開催日 平成18年5月17日(水)、18日(木) ●開催倶楽部 箱根カントリー倶楽部 6,248ヤード パー72

エントリー130名/出場者133名/欠場者3名

主な成績（日本女子アマチュア選手権出場有資格者）

順位	選手名	所属	第1ラウンド	第2ラウンド	合計
1	森 裕子	扶 桑	72	78	150
2	金宮 美明	那 珂	79	72	151
2	植田希実子	大 宮 国 際	74	77	151
4	栗原美佐枝	小田原・松田	72	80	152
5	佐々木祥子	妙 高	76	77	153
5	関 舞	東 千 葉	76	77	153
7	小山恵利子	関東女子	78	76	154
7	原田 沙織	富士平原	75	79	154
7	中田 香加	大 厚 木	76	78	154
7	綾田 結子	関東ジュニア	76	78	154
7	栗原えりか	日 高	76	78	154
7	杉山 加奈	日本 大	74	80	154
13	南雲 貴菜	岡 部 チ サ ン	76	79	155
13	斉藤 愛璃	関東女子	75	80	155

順位	選手名	所属	第1ラウンド	第2ラウンド	合計
15	小川 真実	オリムピック	77	79	156
15	志賀 友香	塩 原	77	79	156
17	林 佳世子	ロイヤルスター	79	78	157
17	石毛 里美	千葉桜の里	78	79	157
19	青木潤令奈	関東ジュニア	79	79	158
19	西村 麻衣	専 修 大	81	77	158
19	杉山沙羅紗	東京五都市	75	83	158
19	矢嶋 里菜	體 ヶ 間	78	80	158
19	愛甲 遥	甲 斐 駒	78	80	158
19	鎌田 真実	茨城ロイヤル	75	83	158
19	岡宮 穂子	小田原湯本	76	82	158
26	嶋田 江莉	アザレア	81	78	159
27	佐藤 彩香	小田原・松田	76	84	160
27	木戸 愛	ロイヤルスター	79	81	160

●特別表彰
(10回出場表彰) 長瀬 万寿(東京)
松野 信子(東松山)
山口八重子(鈴ヶ崎)

(15回出場表彰) 原田 町子(習志野)
(30回出場表彰) 尾関 久江(武蔵)

■平成18年度 関東グランドシニアゴルフ選手権決勝競技

70歳を過ぎてボールを素直に打てるようになりました

優勝者小池政一選手の夢は90歳までプレーを続けること

文 / 本條 強(KGA広報委員会参与)
写真 / 舟橋一芳・増田 収(KGA広報委員)

1967年に始まったときには僅か30人の参加者だった関東グランドシニアゴルフ選手権も、今年はこれまでで最高の300名がエントリーし、2会場で予選を行う盛況なものとなった。決勝競技は5月29日、皐月晴れの小金井カントリー倶楽部において、123名の70歳を過ぎるアマチュアゴルファーが、長年にわたって培ってきた技を競い合った。



優勝した小池選手の豪快なティーショット

古き佳きマナーを見せた優勝者

スタートホールでティーショットを放つ競技者を眺めるが、どなたも70歳以上とは思えないやわらかいスウィング。肩が実に良く回るため、皆さん、本当によく飛ばす。お腹が出ているような人もほとんど見受けられず、普段から鍛えていることがわかる。

最高齢の今年80歳となる長野和郎さん（鎌倉）は、ドライバーの飛距離が240㍎。同伴競技者よりも、絶えず10㍎から20㍎も飛んでいた。歩く姿も最終ホールまで足がしっかりと上がる確かなものだった。「若い頃、海軍に招集され、飛行予科練で鍛えられたからね」と日焼けした顔で豪快に笑う。

夏のような暑さで厳しいラフ、速いグリーンとタフなセッティングながら、123人中32人が70台でホールアウト。85までで上がった人は、実に96人というレベルの高さであった。ホールアウトしてくる皆さんの表情は誰もが精一杯やったという活き活きとしたもので、とてもお孫さんがいるグランドファーザーには見えない。そうした若々しさだけでも、家族から大いに尊

敬されているに違いない。

参加者全員のレベルが高いだけに勝負の行方ははっきりとしない。しかも1日だけの決勝である。下馬評が高くて、その日の調子いかんで誰にでも優勝のチャンスがあるといっていだらう。

ようやく全員がほぼホールアウトという段階になって、首位の選手が判明。すると、二人の選手が2オーバーの74で首位に並んでいた。越生ゴルフクラブ所属の小池政一さんとオリムピックカントリークラブ所属の上條忠治さん。さっそく規定に従って、1番ホールからサドンデスでプレーオフが行われることになった。

1番ホールは500㍎のパー5。決勝競技では小池さんも上條さんもパーで上がっている。コイントスにより、先に打つのは上條さん。午後から出てきた風は左からのフォロー。上條さんはバネのあるスイングで、フェアウェイの左サイドに強いライナーでナイスショット。後に打つ小池さんはやわらかいスウィングでフェアウェイのやや右サイドに確実にキープした。

セカンドショットは小池さんが先にフェアウェイウッドで打ち、グリーン手前65㍎に運ぶ。



吉田理事長より優勝杯を受ける小池選手 (右)



小池選手の優勝へのパット



プレーオフ、3打を打つ上條選手

上條さんも素晴らしいフェアウェーウッドのショットでグリーン正面手前の45呎。両者ともがっぷり四つ相撲、勝負は砲台グリーンをいかに上手くとらえるかにかかった。

小池さんはサンドウェッジで打つか、ピッチングサンドで打つかを考えた末、ピッチングサンドでやや低い球を放ってグリーンをとらえた。手前エッジの先でワンバウンドした後、ボールはピンの上4呎に止まった。

一方の上條さんはサンドウェッジでふわりと高く上げたが、やや短く、カップ右下5呎にのせた。小池さんにプレッシャーをかけるためにも、もっとピンに寄せたかったところだが、上りのパットを残しているだけに有利にも思えた。

上條さんは果敢にパットを打った。が、ボールは僅かにカップ左を抜けていった。

そして、小池さんのパット。下りのややスライスというライン。ボールはトロトロと転がり、カップに吸い込まれていった。

優勝！ 会心のバーディーパットだった。だが、小池さんはガッツポーズはおろか、大喜びなど一切しない。周囲の喧噪をよそに、僅かに微笑んだ後、ゆっくり上條さんに近づいて握手を求めた。

そこには常に相手を気遣うというアマチュアスピリットがあった。グランドシニアならではの古き佳きマナーを、ジェントルマンシップを小池さんに見た気がした。

「大きな大会で勝ったのは初めてなのでとても嬉しいです」

これまでは一昨年の名古屋ゴルフ倶楽部和合コースで行われた日本グランドシニア選手権の6位が殊勲の成績。所属コースでのクラブチャンピオンには何度もなっているが、公式戦での優勝経験はなかった。

バーディーにつながった緻密な計算

「今日の優勝はまず、本ラウンドをほぼ予定したとおりにプレーできたことが大きいと思います」

インスタートだった小池さんは前半を36、後半のアウトを38で回った。

「いきなり10番、11番とバーディーチャンスだったのですが、僅かに入らずパー。我慢我慢と思っていたら、15番のロングでバーディーが来て、難しい17番はボギーとっていましたので、予定通りボギーとなりパープレーで折り返すことが出来ました。2番は予定外のボギーでしたがこれは仕方ないと思い、3番はボギーと覚悟していたので、その通りに行き、残りのホールをすべてパーとして、トータル2オーバーであがれたわけです。それで、プレーオフに残ることができたのが大きかったですね」

そのプレーオフは見事なバーディーだった。

「鍵となった3打目は、好きなサンドウェッジで打とうかとも思ったのですが、左からのフォ



70歳を過ぎてこの闘志



打ったあとも気合がみなぎる

ローの風が気になって、もし高くボールを上げてその風を持って行かれたら意味がないと思いました。そこでピッチングサンドに持ち替え、低い球で、仮にグリーンに届かなくてもワンクッションしていいところにボールは止まるはずと思って打ちました。そうしたらピンの上。でも私、下りのスライスラインって好きなんです。打たなくても届きますからね」

実に物静かにお話しされる。柔和な笑顔。スウィングは人を表すというが、小池さんのやわらかいスウィングはとても個性的で魅力溢れるものだ。人を驚愕させたり、ねじ伏せたりする

ショットではなく、コースという自然と、または同伴競技者と一緒に共存していくようなショットであるところに、アマチュアとしての価値があると思う。

「70歳を越えて、素直にボールが打てるようになりました。あまり叩かず、ラインを出すように心掛けています。すると正確性が増しただけでなく、飛距離もアップしました。また、歳をとってから持ち球をスライスに変

えたのも良かったです。ショットが計算できるようにもなりました」

ゴルフを始めたのは32歳のときだった。ゴルフの虜になりながら、東京都の職員として仕事も定年まで全うした。そうした小池さんの真摯な姿勢を慕う友人たちも、彼の周囲には多い。「夢は90歳まで生きて、ゴルフをしていることです。孫や曾孫と一緒にプレーしたいものです」

小池さんはあくまでも控えめに、その夢を語った。夕方の涼しい風が小金井カントリー倶楽部を通り抜けた。

平成18年度 関東グランドシニアゴルフ選手権決勝競技

●開催日 平成18年5月29日(月) ●開催倶楽部 小金井カントリー倶楽部 6,275ヤード パー72

エントリー125名/出場者122名/欠場者3名

順位	選手名	所属	アウト	イン	合計
1	小池 政一	越 生	38	36	74
2	上條 忠治	オリムピック	36	38	74
3	金本 浩明	横 浜	39	36	75
3	永野 龍亮	土 浦	37	38	75
3	関本 照文	朝霞ジャンボリー	36	39	75
6	池田 正和	横 浜	41	35	76
6	中野 貞宜	東 我 孫 子	39	37	76
6	加倉井満郎	新 水 戸	37	39	76
6	中村 清	水 戸	37	39	76
6	大河内正一	ノーザン赤城	35	41	76
11	土居 喬	藤 ヶ 谷	40	37	77

主な成績 (日本グランドシニア選手権出場有資格者)

順位	選手名	所属	アウト	イン	合計
11	宮坂 昭治	本 厚 木	39	38	77
11	中村 廉	武 蔵 蔵	38	39	77
11	森泉 清	浦 島 島	36	41	77
15	高嶋 一	嵐 山	41	37	78
15	小町 章	青 梅	40	38	78
15	興田 四郎	千 葉	40	38	78
15	太田 英二	桜 ヶ 丘	40	38	78
15	鈴木 正治	府 中	39	39	78
15	志田 宣勇	か ず さ	38	40	78
15	中村 隆男	塩 嶺	38	40	78
15	井草 茂	エーデルワイス	38	40	78

■特別表彰

(10回出場表彰) 伊藤 俊枝 (清 川) 清水 祥一 (狭 山)
 大久保幸次 (日 高) 田中 明夫 (狭 山)
 加倉井満郎 (新 水 戸) 波多野康二 (東 京)
 小池 政一 (越 生) 古川 修造 (湯 河 原)
 嶋田 静雄 (マイルポイント)

(15回出場表彰) 坂入 弘一 (入 間)
 土居 喬 (藤 ヶ 谷)

アマチュア競技の
活性化やジュニア育成に
積極的に取り組む神奈川県神奈川県代表理事 関東ゴルフ連盟常務理事 岩宮 浩氏
インタビュー／高橋正孝（KGA広報委員長）
カット／山縣和彦

岩宮浩常務理事

本日は神奈川県選出の常務理事・岩宮浩さんに神奈川県内の活動について伺います。岩宮さんは神奈川県KGA加盟倶楽部の代表として神奈川県ゴルフ連盟の設立にご尽力され、

最近では、ジュニア育成や利用税、固定資産税など、ゴルファーとゴルフ場をめぐる諸問題に対応すべく活躍されています。

● 神奈川県の組織作りとその現状

高橋 神奈川県ゴルフ連盟（以下県連）を設立しようと以前から活動を続け、それを実現させたわけですが、その後、県連では、どのような

お知らせ

前号（91号）都県活動インタビュー記事に「東京や千葉のように65歳以上が非課税」との部分に関係者の方々から軽減処置であるとのことご指摘をいただき、関係先にご迷惑をおかけしたことを、読者に誤解を招く表現であった点を深くお詫び申し上げますと共に訂正させていただきます。

広報委員長 高橋正孝

活動を進められているのですか。他の競技団体とのかかわり合いなども併せてお聞かせいただければと思います。

岩宮 神奈川県の場合、51のゴルフ場があり、そのうち関東ゴルフ連盟（以下KGA）に加盟しているゴルフ場は36倶楽部ですが、県単位の組織を設立しようということになった発端は、福田前理事長がKGAの改革案を出されたことに遡ります。ゴルフに「体協のゴルフ」や「JGAのゴルフ」など、異種のゴルフがあってはならないということで、KGAが先頭を切って改革をしよう。JGA、地区連盟、県連、そして一般ゴルファーというピラミッド型の体系をしっかりと確立し、下から上へと改革を進めていこうというお考えだったと思います。KGAを見た場合、その当時1都10県の中で神奈川県と静岡県だけに県連がないので、ぜひ作ってほしいということになり、そのため、当初は年額100万円という助成金をKGAから頂戴しました。その意を受けて平成12年6月に趣旨説明のための集まりを持ち、ご賛同をいただきました。そして、翌年6月に設立総会を開き「神奈川県ゴルフ連盟」が誕生したわけですが、大きな特色が一点あります。神奈川県には、ノン倶楽部メンバーが主体の県ゴルフ協会（以下アマ協会）という競技団体があり、公称3万名という大きな所帯でしたので、そこにも協力していただき神奈川県のゴルファーの集合体を作ろうではない

かということになりました。それまで、アマ協会のコンペティションは料金の安い千葉県や静岡県ゴルフ場で開催されることが多かったのですが、県連ができた以上は県内のゴルフ場で開催してもらおう。そのかわり、この趣旨に賛同する倶楽部は、アマ協会会員が全員持っているIDカードを提示したらグリーンフィーを割引くという相互扶助という形でやっていく。さらに、県の代表選手を選ぶ競技会には、倶楽部メンバーもノン倶楽部メンバーも集合して、その中から優れたプレーヤーを出すことも視野に入れていく。お互いの垣根を超えて一緒にやっという趣旨を1年かけて説明し、「本気でやるならば」ということでご賛同を得て、県連に入っていただきました。たまたま私が県の代表理事になっていたものですから会長の職に就くことになり、アマ協会からも副会長を出していただいて、組織、会則が出来上がったわけです。その後、キーパーズ協会であるとか、支配人会、さらにゴルフ練習場の団体もすべて包含していこうとしていますが、まだ、不況の中のゴルフ界は、自分のところの経営が優先してしまいますから、参加はするけど積極的な姿勢には未だになっていないというのが現状です。

● 神奈川県ゴルフ連盟の活動と成果

高橋 県連の立ち上げに当たって、随分ご苦労されたようですが、アマ協会に参加していただいたことは、何と言っても岩宮さんのお力だと思います。ところで、これまでにアマ協会と共同歩調で取り組んでいることには、どんなことがございますか。

岩宮 県連とアマ協会が一緒になって県内のゴルフを活性化していこうということと、将来のためにジュニア育成に取り組んでいこうという2本柱があります。県連側では、戸塚カントリー倶楽部をはじめ幾つかのゴルフ場で、小学生

を対象にプロがルールやプレーの仕方を指導するという試みを行っています。一方、アマ協会では、スナッグ・ゴルフの普及を取り上げています。県連としても、アマ協会のスナッグ・ゴルフの普及に賛同・協力していただきたいと加盟ゴルフ場に呼びかけているところです。スナッグ・ゴルフを通じてゴルフに興味を持ってもらい、ゴルフというのは一部の大人や金持ちの遊びではないんだということをアピールして、裾野を大きく広げていこうと考えたわけです。ただ、用具セットを地域内の小学校にお贈りするためには、かなりのお金が必要になってきます。当初は各ゴルフ場の来場者からひとり30円ずつの基金を頂戴するという案が出たのですが、現実的には困難だということで、各倶楽部単位でご協賛いただくことになりました。ところが、最近アンケートをとったところ、「金額はわずかだけれども」と言って良いお返事をいただいたところが4倶楽部しかありませんでした。そこで、各倶楽部の理事長や社長などの最高責任者あてに「将来のためにジュニア育成にご賛同願いたい」という趣旨のお願いを再度申し上げているところです。36倶楽部が足並みを揃えていくのは難しいと思いますが、幾つもの倶楽部でも良いので、「今年はこれだけの金額をジュニア育成に使って欲しい」という倶楽部が現れてくれるのを期待しています。

高橋 利用税問題にも積極的に取り組まれているとお聞きしましたが。

岩宮 アマ協会役員とKGA加盟倶楽部の代表である我々が一緒に県議会へ行き、利用税撤廃をアピールしました。一気にゼロにするわけに



高橋KGA広報委員長

はいかないが70歳以上の方に対する非課税はいだろうという事で承認を受け、平成15年の4月1日以降実施されています。各ゴルフ場ともプレーヤーから大変歓迎されているようですが、目に見える成果といえば、今のところこれでしょうか。

高橋 利用税の非課税は70歳からですね。関東には65歳から軽減という県もあります。

岩宮 たしか、千葉県がそうだったと思います。

高橋 東京都もそうですね。

岩宮 神奈川県の場合、利用税として徴収されたお金の一部が各市町村にスポーツ振興ということで還付されています。これが財政規模の小さな自治体では非常にあてにしている金額らしいんです。そのため、軽減対象を広げることは難しいようです。

高橋 この問題は一朝一夕に解決するのは難しいかも知れませんが、根気よく続けるということが大切ですね。

岩宮 確かにその通りだと思います。

●golferの育成

高橋 ところで、ここ数年、女子プロゴルフ界が賑やかになりましたね。その中で特に顕著だったのが、平成17年に戸塚カントリー倶楽部で開催された日本女子オープンですが、県連としてサポート活動をされたのでしょうか。

岩宮 県連として公式に何かをしたというのではなく、近隣の倶楽部の方が、それぞれお手伝いをしたというレベルですね。

高橋 それにしても、ゴルフトーナメント始まって以来の入場者を記録したわけですし、今までゴルフをやっていない人が随分見に来ましたね。特に小さな女の子を連れたギャラリーも多かったようですが、それは将来的にも良い刺激になるのではないかと思います。

岩宮 まあ、宮里藍を代表とする若手の台頭が



大きいですよ。

高橋 将来のジュニア育成に、うまく結びつけられるとチャンスだと思いますが。

岩宮 ジュニアに限らずレディースに対する働きかけといいますか、それが一つのキーポイントになるだろうという気がします。神奈川県でKGA加盟倶楽部の中で、競技志向のレディースが全倶楽部にいるとは必ずしも言えません。高橋さんの倶楽部は研修会があり、競技志向が強い方が多いですね。ところが、わたしの倶楽部では親睦ゴルフに徹しているという具合に、倶楽部によって大きな開きがあるようです。

高橋 神奈川県レディースという組織があって、かなりの倶楽部が参加しているようですが、神奈川県レディースが競技志向になってくるようなら、いろいろなかたちで県連も関与されるというのも一つの方法ですね。

岩宮 そうだと思いますし、ぜひ、そうしたいですね。レディースの場合、自分の技量とかで人見知りする結果になりがちです。競技会を身近に感じてもらうことは、来場者数の増加にもなると思いますし、そういう競技をきっかけにして、次の開催コースへ練習に行くようになる。そうすると、ここは面白いとか、難しいとか、要するに比較する気持ちが出てくる。そういうことでゴルフの幅も広がると思うのですが、まだ、機会が少ないですよ。

高橋 そういうきっかけを作っていくことも大切かも知れませんが。

岩宮 先程も言いましたが、千葉県や静岡県のコースになぜ行くのかというと、料金が安いということなんです。たとえ1000円でも我々がグリーンフィーを割り引きますということになれば、それなら県内でやろうかということになっていくと思います。他のコースを知る機会、接する機会を連盟として県内で増やしていきたいと考えています。それに、気の置けない仲間とやるのが一番楽しいのはわかりますが、知り合いを増やすということもゴルフの楽しさのひとつではないかという気がします。

高橋 そういう中で、ある程度は先行投資も必要でしょうし、今お話のあった女子ゴルファーの活性化などが実っていけば、来場者増にも結びつくはずなんですよ。

岩宮 そうだと思います。

●KGA主催競技“倶楽部対抗とアンダーハンディ競技の現況”

高橋 次にKGA主催の競技についてなのですが、神奈川県で倶楽部対抗出場倶楽部数は27倶楽部くらいになりますか。

岩宮 例年ですと、出場チームは25から27の間を行ったり来たりですね。

高橋 今後、増える見込みはありますでしょうか。というのは、このところ千葉や埼玉のように、参加倶楽部数が増え、1つのコースでの開催が難しくなって、分割開催を考えないといけないという問題があるからです。分割には反対意見もあるのですが、1コースのキャパシティーがギリギリという状態で開催した場合、天候(特に雷)などでプレーが中断したら、はたして全員がホールアウトできるのかという問題が出てきます。これは私も実際に経験したことなので、敢えてお聞きしたいのですが。

岩宮 実は、18年度の倶楽部対抗予選の開催方式は各都府県の意思で決めてよろしいという通達があったので、アンケートをとりましたところ、従来どおりの方式に決まったという経緯があります。予選開催倶楽部が多少起伏のある中津川カントリークラブさんだったため、参加希望倶楽部が増えたからといってA、Bクラスそれぞれ4人・4人にしますと日没という心配も出てきますし、おっしゃるように雷の問題もあります。そこで、従来どおり3人・3人で実施しました。どちらにしても、関東倶楽部対抗に出られるということは、やはり各倶楽部のメンバーとしては大きな魅力になっていますので、大切に運営していきたいと思っています。ただ、KGA加盟数で500を超える倶楽部があるわけですから、関東倶楽部対抗を楽しくやろうということだけでなく、何か機械的になってしまう部分が出てきはしないかという心配もあります。県の倶楽部対抗の際にも成績発表が終わると皆パーッと帰ってしまいます。以前は、いろいろなことを語り合うことが、交流を深めるものになっていたのですが、今は味も素っ気もないという感じがします。競技もさることながら、フレンドリーな交流を深めていくことということが大きな目的だと理解しています。そういう面から見ると、倶楽部対抗のあり方というのは、これからの課題でしょうね。また、倶楽部対抗に別な構想が出てきてもいいのではないかと思います。先程、レディースの話がありましたが、倶楽部対抗にレディースメンバーを入れるとか、あるいは今もある年齢別クラスをさらに細かく分けて、よりフレンドリーなゴルフが楽しめるクラスを設けるということも考えられます。

高橋 KGAの倶楽部対抗に関しましては、パーティーを補助させていただいたり、他の競技とは違う形での運営を志しているのですが、

岩宮さんがおっしゃるように、ちょっと機械的になりつつある部分があるかもしれませんね。
岩宮 グリーン周りなどからプレーを見ていますと、ホールアウト後に挨拶を交わす組と、そうでない組があります。また、同じ「ありがとうございました」でも、昔は心がこもっていたと思うんです。パーティが始まるまでの時間にも団樂の場が、そこかしこであったのですが、今はないですよ。

高橋 そうですね。その辺は選手の倶楽部対抗に対するモチベーションの問題もあるのかも知れませんが。

岩宮 そうだと思います。うちのように万年ビリのような倶楽部は、どうしたってフレンドリーにならざるを得ないんですけど(笑)。

高橋 それでも、年に一度、皆さんとお目にかかれて一緒にプレーするというところに意義を感じていただけるのではないかと思います。

岩宮 応援にみえる方は、昔、倶楽部対抗で顔を合わせていた人たちと気軽に声を掛け合うということも多いようですね。そういう気持ちを大切にしていきたいと思います。

高橋 次にアンダーハンディ競技ですが、一時は参加者数が低迷していたようですが、アマ協会からの参加も増えて、だいぶ活況を呈しているようですね。

岩宮 神奈川の場合、アマ協会が応援してくれないと、出場者はごく少数になってしまうんです。彼らは一生懸命やっていますし、上位に入賞するのは大体アマ協会の人ですね。それと倶楽部対抗の会場で親睦風景を見ることが少ないと言いましたが、アンダーハンディ競技のパーティ席上の方が、見ていますとフレンドリーな雰囲気があると私は思います。アンダーハンディ競技というのは、趣旨から言えばハンディキャップがあって、老いも若いも上手下手も一緒にできるわけですよ。従って、アンダーハン

ディ競技こそ、参加者が増えて欲しいという気がします。ゴルファーの横のつながりを増やすためにも、KGAがもっとPRすることも必要ではないかと思います。

高橋 そうですね。その辺はKGAの競技委員会や県の支配人会が、もっと積極的に動いていただきたいですね。

岩宮 神奈川県の場合なら、東・中・西の3ブロックで予選競技をやって、それから県の決勝をやるという方式にすれば、もう少し違った雰囲気の大大会になるのではないかと思います。

高橋 なるほど、たしか新潟でもそういう方法をとっていますね。

岩宮 倶楽部対抗は本当に各倶楽部の精鋭が互いに競い合うということ、これはこれでいいですよ。それに、昔あったフレンドリーな雰囲気復活させていければ最高です。各倶楽部も研修会の1年間の総決算という感じですから、私は結構だと思います。ただ、県連としてゴルフの活性化を目指していくためには、倶楽部対抗には出られないというプレーヤーには、お互いにハンディキャップがあるのだから、それで競い合っていきたいということやアンダーハンディ競技を盛んにしていきたい。そういうことを通して、県連やKGAに対するゴルファーの見方も変わってくる気がするんです。

高橋 まず、自分たちで動き出すということですね。

岩宮 県内の組織として一応の形はできましたので、次に一般のゴルファーを活性化していくためには、どうすればいいかを考えていく必要があります。

高橋 埼玉県で、県民ゴルフデーというのをやっていますし、千葉県でも県連をあげての独自のイベントがありますよね。

岩宮 特に県民大会は大変良いことだと思います。これは、神奈川県松沢知事に一度話をし

たいと思っていますし、副知事とは親しくさせていただいていますので、機会をとらえて働きかけていければと思っています。

高橋 補助金や助成金というのはなかなか期待できないでしょうが、広報活動を多少援助してもらっただけでも随分違いますからね。

●KGAに対する要望

高橋 KGAの活動方針について県連としての要望は何かがありますか。

岩宮 このままでは、日本のゴルフがおかしくなるということで、JGAが体協に再加盟しました。その下に地区連盟があるのですが、JGAはルール問題や競技などを主体にしていますので、各倶楽部の運営やゴルフの振興という問題では、必ずしもイニシアチブを取れないと思っています。地区連盟の中で最も大きな所帯であるKGAとしては、一般ゴルファーと一緒にゴルフを盛んにしていこうという意識を共有できるように働きかけることが大切だと思います。そのためには情報提供ということが必要です。私たちの目指しているのは、こういうことなのだという効果を効果的に広報して欲しいですね。

高橋 活動方針なども、分かりやすく、かみ砕いてPRしないとイケないでしょうね。そして、私が個人的に感じるのは、KGAが組織として決定し、動いていることのすべてが、そのままJGAに吸い上げてもらうというわけにはいかない部分もあるということです。JGAは財政的な建て直しという過渡期にあり、KGAの財政面は一息ついた状態。その違いもあって、取り上げたくても財政的な制約からJGAにはそれができないということもあります。しかし、KGAが積極的に発言しないとイケない立場にあることは自覚すべきです。

岩宮 私自身、JGAの評議委員会に出させていただくだけで、批評できる立場ではないのです

が、JGAがピラミッドのトップにあるなら、それなりに行動を伴うビジョンが必要だと思います。そのためには地区連盟の手助けを必要とする面も多々あるでしょう。KGA、県連という組織単位をしっかりと情報伝達の場として、トップダウン、ボトムアップを繰り返して活性化していけば、結果としてJGAが変わってくるのではないのでしょうか。一方、JGAには譲ってはいかない権威といますか、それはちゃんと持っていても構わないとイケない。ルール問題や国際的な関係もありますからね。ところで、我々二人は、こんな話を一生懸命していますが、他の地区ではどうなのでしょう。

高橋 それぞれ、受け止め方は違っているでしょうね。

岩宮 例えば、九州など日照時間が長く、各コースの稼働率が高くてもそこそこの地域もあります。しかし、状況の良いところは、悪いところに対する思いやりを持って一緒にやってみようという雰囲気を作ることも大切です。そういった面では、ぜひJGAにイニシアチブをとってもらいたいと思います。

高橋 そうですね。いずれにしてもJGAの活動も、実施面では地域という視点が一番大切で、それがないと成り立っていかないわけです。その点を押さえているのが地区連盟であって、さらに、岩宮さんがおやりになっている県連が、活性化を具体的に進めないとJGAの改善もなかなか難しいかもしれません。

岩宮 地区連盟では何と言っても加盟倶楽部の数から言ってもKGAが一番大きい。また、関西はゴルフ発祥の地としてのプライドもあるでしょう。その辺の垣根を低くしてお互いに「おい、どうだ」というように気さくに話し合っていたきたいですね。それは、その他の地区連盟も含んでということですが、結果としてJGAにこういうことをやっていただきたいと申し入

■平成18年度 関東アマチュアゴルフ選手権決勝競技

3年振り、2度目の栄冠に輝く 伊藤勇氣選手の成長の軌跡

文/森口静彦(KGA広報委員) 写真/塚越克一(KGA広報委員)



吉田理事長より伝統の優勝杯を受ける伊藤勇氣選手



1番からショットする伊藤選手

昭和13年3月頃、関東アマチュアゴルフ選手権の創設が決まり、同年10月30日～11月1日にかけて開催された。参加申込み32名。しかし、出場したのは僅か22名。10名が棄権。3日間のマッチプレーを制して第1回関東アマの栄誉を得たのは、学生界の新鋭久保田瑞穂選手（明大）であった。第2回大会は、原田盛治選手（東大）が前年度のチャンピオン久保田選手を6-5で下して優勝（昭和14年9月16日～18日、於鷹之台）している。

第3回大会では、ダークホースの社会人寺井誠一郎選手（武蔵野）が優勝（昭和18年9月22日～25日、於鷹之台）。戦時下であり、学生ゴルフに対する風当たりが強く、参加資格が満40歳以上とされたため、当時「態のいいシニア選手権に過ぎなかった」と批判された。

終戦以前の大会は以上の3回。再開はまだ戦後の混乱が収まらない昭和24年10月8日、9日、16日、23日にわたって開催され、近衛通隆選

手（東京）が優勝（於相模）した。

以来、本年度に至るまで58回連続して開催されてきた。即ち、今大会が61回目の開催であり、関東ゴルフ連盟の開催競技の中では、個人戦として最も長い歴史を誇る大会である。

決勝ラウンドに進んだ76選手

去る5月8日から12日にかけて、8会場にて1,183名の参加の下に予選競技が開催された。熱戦の末、決勝競技進出は118名。これにシード選手を加えた156名で伝統ある関東アマチュアゴルフ選手権の座を争う。平成6年大会で、当時、日大ゴルフ部の片山晋呉選手が優勝して以来、学生、あるいはジュニアのチャンピオンが12年連続している。第1回、第2回大会いずれも学生が優勝している過去の例をみても、やはり、学生は練習量も豊富、体力、気力も充実している年代であり、有利であることは否めない。



れ、それができるのなら、我々もこういう形でサポートしていこうという流れが出来上がります。今、各倶楽部に聞きますと、一体JGAは何をやっているのかという非常に素朴な質問が結構あります。やはり広報活動といいますが、JGAが目指す物は何かというものを、もっと明確にしていこうと感じますし、そういう地道なことを積み重ねることで、明るい未来が築けるとおもいます。

●神奈川県としての展望と抱負

高橋 神奈川県としての展望、抱負はいかがですか。

岩宮 県連を設立し、立派な会則もでき、役員も決まったわけですから、これからは積極的に働きかけをしたいと思っています。まず、県内競技を盛んにしていこうと考えています。その中には倶楽部対抗もありましょうし、レディース競技も考えて良いでしょう。そして、ジュニア育成については、もっと踏み込んでいく必要があります。最初に目標としたことがまだ充分には達成できていませんので、何とか一歩でも半歩でも、先に踏み出したいと思っています。これまで県連として打ち出した方針に反対される方は基本的にいらっしゃらないと思うのですが、まだ、周りの様子を見ているだけという倶楽部もかなりあるという気がするのです。その

方たちへのアピールも重要な仕事です。

高橋 ちょっと、腰が落ちてきているのですかね（笑）。

岩宮 賛同される倶楽部の状況を見てから決めるというところもあります。もっと主体的に、自主的に判断して欲しいですね。スナック・ゴルフのことにしても、倶楽部によって出せる金額が違うのは仕方ないことです。それでも36倶楽部がジュニア育成のために動き出したということが大事なんです。少子化＝ゴルファーの減少という問題は待たないなんです。湯河原カントリー倶楽部の例で言いますと、近隣の湯河原高校にゴルフ練習場を作り、倶楽部メンバーが不要になったクラブを寄付しました。たまたまハンディキャップ20という先生がいらっしゃいまして、一生懸命指導してくれたのが、少子化の影響で高校が閉鎖になってしまい、応援しようにもできなくなってしまったんです。

高橋 早めに手を打たないといけないということですね。ゴルフ場の方々も、今まで「右を見て、左を見て」をしすぎている。プレー料金を決めるのもそうですし、いろいろな運営でも、よそでやっていることを、そのまま真似する傾向が強いですが、これからは独自性ということも要求されますよね。

岩宮 「みんなで渡れば怖くない」などという事態ではなくなくなってきていますからね。各倶楽部の経営のやり方についても、ここは、こういうユニークなことをやっているよという特色を出していけないといけません。

高橋 本日のインタビューでは、多方面にわたるお話をお聞かせいただきましたが、私も神奈川県所在のゴルフ場に関係しておりますので、今まで以上に積極的に県連の活動に協力させていただきたく所存です。今後とも所期の目標達成がスムーズに参りますよう期待しております。本日に長時間ありがとうございました。



2日目に69の好スコアで追いつけた2位の小原淳選手



後半の追いつけも届かず、3位に甘んじた永野竜太郎選手

印象に残った最終組の爽やかなプレー

前夜、強い雨が降った。第1組が4ホール目の2打地点に来た頃、突然の雷雨。近くの大洗水族館辺りに落雷、閃光と轟音が同時だったという。レーダー観測では昼頃まで停滞する様子。選手、キャディー、関係委員、ギャラリー等の人命安全を第一に考え、3日目の競技は中止された。

既にプレーを始めた選手達の諸費用、昼食の手配等いろいろの問題もあったが、倶楽部側のあたたかい配慮があり、選手達も感謝していたという。また、15番フェアウェイに移植した松に張ってある防護ネットを競技の公正維持のため外してもらおう等、コース側の各種の便宜、協力に対し野口競技委員長は大変感謝していると述べた。

最終日の天候は曇り。気温18度、東南東の風3風（水戸気象台12時発表）。やや肌寒いがゴルフ

大会の舞台大洗ゴルフ倶楽部（昭和28年開場）は7,190円、バー72（コースレート74.4）。強い海風に吹かれた黒松が複雑に絡み合い、平坦な地形は殆ど見当らないタフなシーサイド・コースとして全国でも屈指のコースだ。

初日、パープレー以上で上がったのは伊藤勇氣選手（日大1年）68、大田和桂介選手（ケントス）69、神戸誠選手（太田双葉）ほか4名が72、計7名である。

2日目、小原淳選手（セントラル）がアウト36の後、インで3バーディ、ノーボギーの33、計69をマークして急浮上。伊藤勇氣選手はアウト、インそれぞれ2バーディ、3ボギーの74。両選手が通算142でトップタイに並んだ。前日2位の大田和桂介選手は75を叩いて通算144の3位に後退。通算パープレー以上の選手はこの3選手だけだった。

予選ラウンド159ストローク、64位タイまでの76名が3日目以降の決勝ラウンドに進む。



屈指の名ホール（16番）に挑戦する選手たち



9番ホールで伊藤選手の球が紛失球に

フにはお話し向きだ。まずは、練習風景を見学。打放しの一番奥、270～280ヤード近辺に球が消えていく。一方、アプローチ練習用の旗竿には吸い寄せられるように白球が集まっている。出場選手のレベルの高さに驚く。

8時から、アウト1番ホールのスタートを最終組（小原淳、伊藤勇氣、大田和桂介各選手）まで見送った。やがて、伊藤選手が2～4番ホールで3連続バーディーの情報。

「最終組から優勝者がでるのではないかな」等と話しながら、昼食を済ませてハウスを出ると、9番ホールグリーン右サイドの林の中で選手、キャディー、ギャラリー等大勢で球探しの最中。最終組、しかも伊藤選手の球が松の枝に乗ったらしい。結局、見当らずダブルボギー。フロントナインのスコアは伊藤選手37、小原選手38で、一時の5打差は1打差に詰まった。

9番ホールのダブルボギー、即ち負の部分が伊藤選手にどんな影響を及ぼしたのか、同選手に聞いてみると「10番で最低バーディを取らないといけなかった」という答え、既に心理状態は攻撃態勢であった。

10番ホール（520ヤード）、3人目に打った伊藤選手のティーショットは、他の選手を40ヤードもオーバーする310ヤードのフェアウェイ。第2打200ヤードを6番アイアンでピン手前2フィートにつけ、1パット。目標を上回るイーグル達成だ。

追い風の11番（390ヤード）。伊藤選手の第1打は

フォアキャディーが「今日一番飛んだ」という325ヤード。そこからピン手前約3フィートに2オン、1パットのバーディー。次の12番も2オン1パットのバーディーだ。13番あたりから球がやや左目に飛ぶようになった。松の枝が邪魔になって、3オンならず。アプローチをピンそば40ヤードにつけ、タップインのボギー。14番、両者パーの後、15番が圧巻だった。左ドッグレッグのパー5（571ヤード）、小原選手の第1打は左の松林の中、伊藤選手の球は更にその奥。小原選手は安全に横に出したが、伊藤選手は横に出すルートがない。ピン方向に打つにしても松が密生している。僅かに残されたルートは前方約20フィートのタミ1枚を縦にしたくらいの隙間だけ。ベアグラウンドの球をアイアンで思い切りよく振り抜いた。そして見事に林を脱出、ボギーでおさめた。小原選手もボギー。

難易度の高い上がり3ホールは、伊藤、小原両選手とも1パー、2ボギー。伊藤選手が小原選手の追撃を振り切って見事3年ぶり2度目の優勝、学生の連続優勝記録を13に伸ばした。社会人1年生の小原選手もよく健闘し、2打差の2位。大田和選手は5打差の5位に入った。最終組3選手の爽やかなプレーが印象に残った。

平成15年の優勝はプレーオフで手に入れた。今回は2打差つけての優勝だ。今回のスコアを単純に4Rベースに換算すると287打となり、田中秀道プロが優勝した平成10年10月の第63回日

■平成18年度 関東ジュニアゴルフ選手権決勝競技

4部門の勝者をめぐる ジュニアパワーの戦い

文 / 森口静彦(KGA広報委員)
写真 / 塚越克一・増田 収(KGA広報委員)



関東ジュニアゴルフ選手権の創設は昭和55年で、今回が27回目の開催となる。歴史としては新しいが、将来の日本のゴルフ界を背負って

立つジュニアを健全なゴルファーとして育成する意味では、最も重要な競技である。この選手権は下記の4部門に分かれて競技が行なわれた。

男子15歳～17歳の部は、4ブロックで予選を行い401名が参加し、89名が決勝進出となった。

男子12歳～14歳の部は、予選参加者が昨年より大幅に増加したため会場を3ブロックにして開催した。224名の参加で決勝進出者は40名であった。

女子15歳～17歳の部は、参加者68名中13名が決勝進出。

女子12歳～14歳の部も、参加者は昨年より増加し61名中13名が決勝進出を果たした。

以上4部門に各シード選手が加わり、梅雨が明けたばかりの千葉カントリークラブ梅郷コースで熱戦が展開された。しかし、数名の有力シード選手が欠場したため、一転混戦の様相となった。

選手のスタートを見送ったば

15歳～17歳の部



男子優勝 園田俊輔君

女子優勝 亀井綾夏さん

12歳～14歳の部



男子優勝 今平周吾君

女子優勝 小楠梨紗さん



吉田理事長より20回出場の表彰を受けた太田再勇選手

本オープン（於：大洗）の4位タイに匹敵する素晴らしいスコアだ。

平成15年優勝時の170ヤード、55度のジュニアは、今、174ヤード、63度の逞しいゴルファーに成長した。ドライバーの飛距離は260ヤードから280ヤードに伸びた。

これからも恵まれた体躯にさらにトレーニングを重ね、技術的にも大いに飛躍するに違いない。そして今回2回目の関東アマチュア選手権獲得という大きな偉業を成し遂げた。この自信

もまた大きい。久しぶりのアマチュア大型選手として、期待は大きくふくらむばかりだ。

■伊藤選手にインタビュー
ショットに自信があった

——優勝の感想を聞かせてください。

「関東アマには高校1年で優勝したあと2回続けて優勝を逸し、今回は是非取りたいと思っていたので、とても嬉しいです」

——優勝できた一番の要因は？

「ショットに自信があったことと、バーディーパットが入ったことです」

——日頃の練習について

「毎日、300～500球、その内200球は30～50ヤードのアプローチの練習に当てています。パットは週2回、グリーンで練習します。また、高校に入ってから、トレーナーについて40度のバーベルで筋トレをしています」

——これからの活躍を期待します

「ありがとうございました」

平成18年度関東アマチュアゴルフ選手権決勝競技

●開催日 平成18年6月5日(月)～8日(木) ●開催倶楽部 大洗ゴルフ倶楽部 7,190ヤード パー72

エントリー156名/出場者156名/欠場者0名

主な成績 (日本アマチュアゴルフ選手権出場有資格者)

順位	選手名	所属	1ラウンド	2ラウンド	3ラウンド	合計
1	伊藤 勇気	関東 アマ	68	74	73	215
2	小原 淳	セントラル	73	69	75	217
3	永野竜太郎	関東ジュニア	75	71	72	218
4	宇佐美祐樹	鷹	73	77	69	219
5	大田和桂介	ケントス	69	75	76	220
6	川瀬 歩	日本大	75	74	75	224
7	石川 遼	関東ジュニア	77	72	76	225
7	高柳 直人	関東ジュニア	77	75	73	225
9	前澤蔵俊太	セントラル	77	73	76	226
9	中島 徹	昇 仙 峡	75	74	77	226
9	木下 裕太	日本大	79	68	79	226
9	鎧 英樹	富士 笠 間	74	75	77	226
9	谷口 英樹	セベラステロス	73	72	81	226
14	小池 一平	諏訪レイクヒル	75	74	78	227
14	杉山 穂	総 武	75	75	77	227
16	藤田 大	皇月・佐野	78	76	74	228

順位	選手名	所属	1ラウンド	2ラウンド	3ラウンド	合計
16	芳賀 洋平	中央学院大	72	79	77	228
16	鬼澤 友秀	埼玉 県 アマ	77	75	76	228
16	岩橋 徹	日 本 大	76	74	78	228
16	宮本 清	小 川	72	76	80	228
16	茅野 弘喜	諏 訪 湖	76	73	79	228
16	橋爪 光彦	関東 アマ	76	75	77	228
23	帆足 文宏	東 ノ 宮	75	81	73	229
23	竹原 洋行	東 名	80	78	71	229
23	竹石 要佑	筑 波	75	74	80	229
23	真田 雅彦	リバーサイドフェニックス	76	73	80	229
27	神戸 誠	太 田 双 葉	72	79	79	230
27	吉田 祐基	駒 澤 大	75	78	77	230
27	片野 謙二	バ 協	76	78	76	230
27	日暮 俊明	扶 桑	73	77	80	230
27	太田 再勇	大 相 模	73	78	79	230

■特別表彰

(10回出場表彰) 桜井 延秋 (新 千 葉)
中野 正義 (富士・笠間)
水上 晃男 (鶴 ヶ 浦)

(15回出場表彰) 杉山 穂 (総 武)
(20回出場表彰) 太田 再勇 (大 相 模)



緊張の色をかくせないスタート前の選手たち



ジュニアとは思えないこのパワー。蘭田選手



プレーオフで惜しくも蘭田選手に敗退した青木龍一選手

成績発表。クラブハウスに集まった力強い若人の顔、顔、顔



かりの大鷲ジュニア育成委員長に、その辺の事情を聞いた。

以前にもあったが、夏休みは各種の公式競技が目白押しで、ジュニアはハードスケジュールをこなすのが大変。体力的にも無理は出来ず、今回のような事態が起きたのだと言う。このような事態を未然に防ぐためには、関係諸団体が事前に十分な打合の上、日程調整をする事が依然として大きな課題であろう。

大会初日爽やかな高原の気分

軽井沢高原にでもいるような爽やかな初日だった。男女とも15歳～17歳の部の第1ラウンドが行なわれた。

男子は予選Dブロック（紫CC・すみれ）のメダリスト近藤孝宣選手（水城2）が68でトップ。2位タイはシード選手の蘭田峻輔選手（杉並学院2）とAブロック（日高CC・東西）メダリストの大塚智之選手（埼玉栄1）の69。4位タイはAブロックから勝ち上がってきた高柳大（関東学園大高1）、三上諒（埼玉平成3）、吉田研人（埼玉栄3）とDブロックの小島謙太郎（作新学院3）の4選手。以上がアンダーを記録した選手だ。一方、Bブロック（茨城GC・西）を66でトップだった大久保紳一郎選手（早大学院3）は期待むなしく87を叩いて第2ラウンド進出ならず。Cブロック（程ヶ谷CC）トップの久米朗文選手（厚木北3）は64位タイで辛くも第2ラウンドに残った。出場者111名の内65位タイの69名が第2

ラウンドに進出した。

女子は予選（藤ヶ谷CC）をしんがりの80で通過した亀井綾夏選手（拓大紅陵3）が69を出してトップに躍り出た。シード選手の斉藤愛璃選手（厚木北2）、と金宮美司選手（埼玉栄3）は仲良く75で2位タイ。15名全員が第2ラウンドに進出した。

2位に5打差をつけた亀井選手

最終日は、正午発表の気象情報で、晴れ、気温30.6度、南の風、1m/s。一点の曇もなく晴れ上がった空の下はどんどん気温が上がって、熱中症も心配された。午後からは光化学スモッグが発生して喉の痛みを訴える選手も出た。

まず、優勝が決まったのは女子12歳～14歳の部。予選をトップで通った青木瀬令奈選手（箱田中2）の79に対し、小楠梨紗選手（新津中3）が75で上がってあっさり優勝を決めた。ショットは悪かったが、パットが良かったという。

次に、女子15歳～17歳の部の亀井綾夏選手が2位に5打差をつけて優勝を決めた。同選手は、前年度、159打で2位に入った。今回これを16ストローク上回る好スコアでワンランク上がったことになる。素晴らしい成長振りだ。

女子があっさり決まったのに対して、男子は混戦が予想された通り両部門ともプレーオフに連れ込んだ。

まず、男子12歳～14歳の部。前年度のチャンピオン伊澤秀憲選手（大船中3）がアウト6番でダブルボギー7を叩いて74。一方、予選では浅地洋佑選手（杉並学院中1）76、今平周吾選手（西武中2）77という位置につけていた二人だったが、決勝では両選手共見事に72をマークして、トップタイとなり両選手の対決となったのだ。

そしてプレーオフとなり10番からスタートした。11番で今平選手の5メートルのバーディーパットが見事に入って勝負がついた。まさにダークホースの優勝だ。

蘭田選手、安全策の勝利

男子15歳～17歳の部は初日60台をマークした近藤、大塚、蘭田3選手と71の高柳大選手の4名が最終組。フロントナインを終えた段階で、初日74の青木龍一選手（関東学院六浦3）が1イーグル、2バーディ、32をマークした。同選手はバックナインもパープレーで通算142。最終組の上がり待つ。そして蘭田選手が73で上がり通算142。プレーオフとなった。

午後5時12分、プレーオフ開始。最初の10番（436ヤ）のティーショットが明暗を分けた。コイントスで順番を決め、オナーの青木選手はドライバーで打った。距離は出たが、左足下がりの難しいライ。第2打は左のバンカー。バンカーショットをホームランとしダブルボギーを叩いてしまった。

一方、蘭田選手は2番アイアンを手にした。これは、日頃、指導を受けているコース・マネージメントの賜物だ。安全に240ヤ付近のフェアウェーに運び、残りを4番アイアンで攻めるという明確な設計があった。2オンはならなかったものの、3オン、2パットのボギー。安全策に勝る名案なしだ。午後5時25分、厳しい暑さの中での長い戦いが無事に終了した。

◎優勝者のプロフィール

○女子12歳～14歳の部

小楠梨紗選手（新津中3）

両親がゴルフをしていた影響で、5歳のとき初めてクラブを握った。小学1年生のとき以来、プロについて指導を受けてきた。KGAジュニアスクールには小学4年生のときから参加している。今回の優勝スコアは75だが、公式競技では71をマークしたこともあり、プライベートで70を出したことも。身長165センチ、体重?キ。ドライバーの平均飛距離は240ヤ。ゴルフはできる限り一生続けたい。

●ラウンド中のひととき



プレーを離ればみんな仲のよい友だち同士



若さがはじけ、笑顔が並ぶ(上)。思わずVサイン。ジュニアの心は天真らんまんだ(下)

○女子15歳～17歳の部

亀井綾夏選手 (拓大紅陵高3)

前日の予選ラウンドでは、イーグルを含む69の驚異的なスコアで2位に6打差をつけてトップ。今日はまた別の試合に臨むつもりで、バーを目標にプレーしたと言う。小学5年生の頃から、関東で開催したプロの試合を観戦して興味が湧いたという。身長163㎝、体重?㎏。ドライバーの平均飛距離は230～240㍎。今後も益々頑張りたい。

○男子12歳～14歳の部

今平周吾選手 (西武中2)

父親に連れられて近くの練習場のゴルフスクールに通い始めたのが小学3年生のとき。それ以来、ずっとスクールに通ってプロの指導を受けている。今まで、関東ジュニア選手権がある事を知らず参加しなかったのが、今回が初参加で初優勝という珍しいケースだ。身長158㎝、体重43㎏。ドライバーの平均飛距離は250㍎、6Iは160㍎。

○男子15歳～17歳の部

菟田峻輔選手 (杉並学院高2)

ゴルフを始めたのは、父親の影響で3歳の時。小学5年生からカナダ人のティーチングプロについて指導を受けている。指導の内容は、スイングの技術面からメンタル面、コース・マネジメント等幅広い内容とか。スポーツは何でも好きで、中学時代は水泳とサッカーをやっていた。高校に入って、ゴルフ中心となり、毎日練習場で練習している。身長177㎝、体重80㎏と体格に恵まれ、ドライバーの平均飛距離は290～300㍎。2I 240㍎。

関東ジュニア選手権は特別の雰囲気がある。まず、何とんでも若者達の力強さ、柔軟性、エネルギーを感じる。これが我が国のゴルフ界を支える力になるのだ。子供たちの能力を十分に伸ばすと共に正しい方向に育てて行く事が何より大切になる。このジュニア達がまた次の世代の子供達にゴルフを伝えていく。大鷲ジュニア育成委員長は、関東ジュニア選手権の意義について「ゴルフを通じて、心身両面を鍛えると共に日常生活に必要な礼儀を身につけさせる」と強調されるが、全く同感だ。

平成18年度関東ジュニアゴルフ選手権決勝競技成績表

男子15歳～17歳の部

- 開催日 平成18年8月2日(水)～8月3日(木)
- 開催倶楽部 千葉カントリークラブ・梅郷コース
7,111ヤード パー72

主な成績 (日本ジュニアゴルフ選手権出場有資格者)

順位	選手名	学校名/学年	1ラウンド	2ラウンド	合計
1	菟田 峻輔	杉並学院(2)	69	73	142
2	青木 龍一	関東学院六浦(3)	74	68	142
3	前田 男	埼玉平成(3)	74	69	143
4	大塚 智之	埼玉栄(1)	69	75	144
5	金原 原碩	佐野日大(3)	73	72	145
5	近藤 孝宣	水城(2)	68	77	145
7	三上 諒	埼玉平成(3)	71	75	146
8	北川 祐生	千葉学芸(1)	73	74	147
8	高柳 大	関東学園大高(1)	71	76	147
8	大槻 智春	鹿島学園(2)	75	72	147
8	吉田 研一	埼玉栄(3)	71	76	147
12	米本 貴昭	修徳(3)	75	73	148
12	富島 裕也	水城(3)	73	75	148
14	高橋 良輔	鹿島学園(3)	74	75	149
14	野田 早人	立正(2)	78	71	149
14	阿部 裕樹	佐野日大(3)	75	74	149
17	長谷川竜一	佐野日大(3)	76	74	150
18	高柳 直人	拓大紅陵(3)	77	74	151
18	佐藤 大悟	多古高(2)	74	77	151
18	小平 智	駒場学園(2)	73	78	151
21	佐藤 博史	千葉学芸(1)	78	74	152
21	阿部 達也	日大櫻丘(3)	77	75	152
21	岡本 周作	厚木北(2)	75	77	152
21	矢高 翔	千葉学芸(3)	76	76	152
21	浅地 洋佑	埼玉栄(1)	77	75	152
21	小島謙太郎	作新学院(3)	71	81	152
27	百瀬 力弥	作新学院(2)	79	74	153
27	板井 将大	佐野日大(2)	79	74	153
27	中村 圭佑	埼玉栄(2)	79	74	153
27	牧 智也	埼玉栄(3)	76	77	153
27	金子 達朗	日大高(3)	76	77	153
27	常瀬 裕一	拓大紅陵(3)	76	77	153
27	森井 裕太	厚木北(2)	75	78	153
27	岡田 勝麻	水城(2)	73	80	153
35	平出 馨大	駿台甲府(2)	79	75	154
35	高橋 勝	作新学院(3)	74	80	154
35	大田和輔介	鹿島学園(3)	77	77	154
38	久米 朗文	厚木北(3)	80	75	155
38	大川 将弥	鹿島学園(3)	78	77	155
38	大溝 崇真	拓大紅陵(3)	76	79	155
38	高野 隆	長岡高(2)	76	79	155
42	大久保大朗	佐野日大(2)	78	78	156
42	村田 浩和	法政二高(3)	79	77	156
42	下河辺 寛	鹿島学園(3)	77	79	156
42	高澤トマス	佐野日大(1)	73	83	156
42	佐藤 将道	多古高(3)	74	82	156
42	服部 大輔	千葉日大一高(3)	78	78	156
42	土居 烈火	千葉学芸(3)	77	79	156

女子15歳～17歳の部

- 開催日 平成18年8月2日(水)～8月3日(木)
- 開催倶楽部 千葉カントリークラブ・梅郷コース
6,290ヤード パー72

主な成績 (日本ジュニアゴルフ選手権出場有資格者)

順位	選手名	学校名/学年	1ラウンド	2ラウンド	合計
1	亀井 綾夏	拓大紅陵(3)	69	74	143
2	斉藤 愛璃	厚木北(2)	75	73	148
3	金宮 美可	埼玉栄(3)	75	75	150
4	片平 光紀	ヘリテージアカデミー(2)	79	73	152
5	富永麻友美	堀越(3)	81	74	155
5	杉山沙羅紗	専大附属(2)	79	76	155
7	栗原えりか	成城学園(2)	78	78	156
8	剣持江里加	佐野日大(3)	82	78	160
8	直井 梨珠	市川高(1)	79	81	160
10	西村 友希	埼玉栄(3)	85	76	161
11	橋添 南	駿台甲府(3)	80	82	162
12	川島 綾乃	桐生南高(1)	82	81	163
13	増田美々子	佐野日大(2)	81	83	164

男子12歳～14歳の部

- 開催日 平成18年8月3日(木)
- 開催倶楽部 千葉カントリークラブ・梅郷コース
6,667ヤード パー72

主な成績 (日本ジュニアゴルフ選手権出場有資格者)

順位	選手名	学校名/学年	アウト	イン	合計
1	今平 周吾	西武中(2)	36	36	72
2	浅地 洋佑	杉並学院中(1)	36	36	72
3	石川 遼	松伏二中(3)	36	37	73
3	星野 修平	新田中(2)	35	38	73
5	梅山 知宏	真岡西中(3)	39	35	74
5	竹内 法美	市川西中(3)	38	36	74
5	伊澤 秀童	大船中(3)	38	36	74
5	嶋田朱里斗	子持中(2)	37	37	74
5	松岡 啓	有吉中(3)	36	38	74
5	佐藤 有生	杉並学院中(2)	35	39	74
5	大井 勇輝	千葉日大一中(3)	35	39	74

女子12歳～14歳の部

- 開催日 平成18年8月3日(木)
- 開催倶楽部 千葉カントリークラブ・梅郷コース
6,290ヤード パー72

主な成績 (日本ジュニアゴルフ選手権出場有資格者)

順位	選手名	学校名/学年	アウト	イン	合計
1	小橋 梨紗	新津中(3)	38	37	75
2	鈴木 沙季	高松中(2)	37	40	77
2	星野 麗香	茗溪学園中(2)	37	40	77
4	眞尾 万里	児玉中(2)	41	37	78
5	青木潮令奈	箱田中(2)	40	39	79
5	木戸 侑来	横須賀学院中(1)	40	39	79
5	嶋田 江莉	杉並学院中(3)	37	42	79

■平成18年度 第6回ジュニアゴルフ大会
茨城ゴルフ倶楽部 西コース 5,359ヤード パー-72

暑さを吹き飛ばす ジュニアたちの熱戦

写真/片山晴美・塚越克一(各KGA広報委員)

平成18年度第6回ジュニアゴルフ大会は、8月7日、快晴の茨城ゴルフ倶楽部で、高学年は18ホール、低学年は9ホールのストロークプレーで開催された。夏休みの1日、温度計が30度を指す中での熱戦だったが、体調を崩したのはわずかに1名、それも軽い症状ですみ、関係者もほっと胸をなでおろしていた。暑さを吹き飛ばすジュニアのエネルギーを写真で追ってみた。



さあ、やるぞ！ この体格、この気迫



「よろしくお願ひします」礼儀も正しく

男子

- 優勝 姜 秀一くん (写真中央)
富里市立日吉台小学校5年 73ストローク
- 2位タイ 保泉悠太くん (写真中央右)
御殿場市立藤岡小学校5年 75ストローク
- 2位タイ 崎田陽向くん (写真左)
船橋市立習志野台第二小学校6年 75ストローク
- 2位タイ 石毛 巧くん (写真右)
松戸市立横須賀小学校6年 75ストローク



女子

- 優勝 河野美桜さん (写真中央)
相模原市立横山小学校5年 80ストローク
- 2位 本多奈央さん (写真右)
富士市立青葉台小学校5年 81ストローク
- 3位 佐々木萌有さん (写真左)
江戸川区立小岩第二小学校6年 83ストローク



練習を積んだ素晴らしいフォームを見せる



見事なショット。砂をならすのも忘れない



小さな手で丁寧にティーアップ



スコアラーのパパも一生懸命



砂をならしましたか。ハイ



「頑張ったね」とお母さんに迎えられる

新規加盟倶楽部紹介

筑波東急ゴルフクラブ



1. 倶楽部名 筑波東急ゴルフクラブ
住 所 〒300-4204
茨城県つくば市作谷862-1
電 話 029-869-0109
F A X 029-869-0568
2. 開場年月日 昭和52年10月6日
3. 理事長 長谷川 勤
4. 倶楽部分科委員長
競 技 委 員 長 和田 光征
ハンディキャップ委員長 松本 吉雄
エテクト・フェローシップ委員長 土岐 武久
5. 総支配人 江戸 三千夫
6. 倶楽部概要

当倶楽部は昭和52年に10月にオープンいたしました。

研究学園都市として全国に知名度の高い筑波は、常磐自動車道・土浦桜ICを降りて約19km、首都圏から約70分で、アクセスにきわめて恵まれています。更に秋葉原とつくば間(約58.3km)を45分で結ぶ都市高速鉄道「つくばエクスプレス」も開業して一層便利になりました。四季折々、自然の移り変わりの美しい紫峰筑波山を望み、フラットな松林と野鳥の飛来する大地。美しい景観と創意に満ちた戦略性高い林間コースです。

アウトコースは随所に戦略要素が組み込まれたメンタルな9ホールです。No.1ホールはスタートに相応しく、広々としたフラットホールです。戦略は木の攻略方法がポイントです。正確なショットを要求するのがNo.4ホールです。バンカーと一本杉にガードされた美しいショートホールです。

ロングヒッターにとって、豪快なドライブの醍醐味が楽しめるのがNo.5ロングホール。春には桜の咲き乱れる美しいホールとなります。アウトの最終No.9ホールでは、紫峰と呼ばれる美しい筑波山の姿が、ゲームに昂ぶる心を爽やかに変えてくれることでしょう。

インコースはフェアウェイが広く、ゆったりと開放的なゴルフが楽しめる9ホールです。スタートのNo.10ホールでは、打ち下ろしショットをお楽しみください。池越えティーショットで始まるNo.14ホールは、左に大きくドッグレッグしたミドルホールです。両側の松林とフェアウェイ中央の松の木の攻略スコアアップの決め手です。No.17ロングホールは、右側の池の上から広々としたフェアウェイにドロウぎみにハードヒット。ロングドライブにより2オンも可能です。最終No.18ホールは、右に筑波山を望み、池とバンカーでガードされた距離のあるショートコースです。各ホールとも随所に配置された松と池が、美しい景観の中にも戦略性を高め、グレードの高いゴルフを満喫させてくれます。

今回の加盟を機に、会員の皆様により快適なプレーを楽しんでいただけますよう従業員一同一層の努力をしていく所存でございますので、今後とも宜しくお願いいたします。

玉川カントリークラブ



1. 倶楽部名 玉川カントリークラブ
住 所 〒355-0342
埼玉県比企郡ときがわ町大字玉川3966-3
電 話 0493-65-5111

新規加盟倶楽部紹介

- F A X 0493-65-3811
2. 開場年月日 平成6年7月14日
3. 理事長 谷口 準
4. 倶楽部分科委員長
競 技 委 員 長 鬼頭 義雄
ハンディキャップ委員長 大山 敏幸
コース委員長 内藤 統祥
ハウス委員長 小野田八郎
エテクト・フェローシップ委員長 野口二三夫
5. 支配人 江澤 進
6. 倶楽部概要

ゆるやかな丘陵地に巧みにレイアウトされた18ホールは、それぞれが個性的で戦略性に富んだ設計です。OUTはフェアウェイにアンジュレーションが多く、グリーンを狙う際は正確なショットが要求されます。INは打ち下ろしのティーショットが多いので、思い切って打てる反面、池などのハザードが挑戦心をかきたてます。自然の地形を

最大限に生かすとともに、設計者の畏が随所に散りばめられた玉川カントリークラブは、まさに自然とのコラボレーションといえます。ひとつとして、同じ攻略法が適用しないこともこのコースの魅力です。

丘陵地に展開する玉川カントリークラブは、見晴らしがよく、春には千本桜や山桜が咲き乱れるなど、四季折々の自然が楽しめることも魅力のひとつです。季節の移ろいを感じながら、爽快なプレーをご堪能いただけます。ラウンド後は、洗練されたデザインのクラブハウスへ。一見、美術館を思わせるような外観は、しっとりとし落ち着いた雰囲気を感じ、プレーヤーをやさしく包み込みます。また、自慢の天然温泉はさまざまな効果・効能があるとしてご好評いただいています。最高の一日のしめくりに最良のクラブライフをお楽しみください。

理事会・分科委員会

平成18年度
第2回 常務理事会議事録

- 日時 平成18年7月3日(月)12時
場所 グランドアーク半蔵門
ガーネットの間
出席者 吉田理事長、小宮山、
竹田副理事長
赤羽、稲川、岩宮、大原、
齋藤、篠崎、高橋、塚原、
広中、森川、渡邊各常務理事
同 席 朝日本ゴルフ協会
会長 安西 孝之
理事 西田幾久彦
理事・事務局長 塩田 良
事務局次長 鈴木 知行
定刻、吉田理事長、議長を務め開会を
宣した。事務局より常務理事総数17名
中委任状を含め17名の出席があり、適
法に成立した旨の報告の後、議事録署

名者として塚原裕、広中三男両常務理事を指名した。

— 討議及び決議事項 —

①JGAゴルフフェアズ倶楽部の件

朝日本ゴルフ協会 安西会長は昨年7月の第1回説明会に続いて説明をする機会を設けたことに対し感謝の意を表した後、資料に基づき基本構想を、続いて塩田理事・事務局長より具体的な説明がなされた。今回は結論を出す訳ではなく、JGAで推進する場合にKGAとしてご検討願いたいとの要望がなされた。説明後、その内容について活発な質疑応答がなされた。

①森川常務理事より

Q.個人会員制度は加盟倶楽部の年会費で成立していることから、

加盟倶楽部のメリットはどのようになっているか?

A.加盟倶楽部で成立していることはその通りです。今回は800万人のノンクラブメンバーを対象としており、その後、加盟倶楽部へも制度を普及していきたい。

Q.ノンクラブメンバーが、メンバーコースでプレーする点をどうするの?

A.ノンクラブメンバーが、メンバーコースでプレーが出来ることは考えていないが、JGAとしては、両者と同じゴルファーとで考えている。

Q.予定されているスポンサー及び会員数が、継続的に維持されるのか!非常にリスクな計画であると考えるが?

A.この制度は、2万人で成立つこ

とで基本計画を考えている。そして、ギブ&テイクを基本にJGAをトータルにサポートしてくれるスポンサーを探している。

Q.アンダーハンディキャップ競技(以降UH競技と称す)を開催しても参加者が集まらないか?

A.JGAは、ハンディキャップをより多くのゴルファーに取得してもらうことを目的としている。地道に続けていく。

②岩宮常務理事より

Q.運営を委託して、4,800万円(＠¥2,400×2万人)の会費で賄えるのか?

A.2万人の会員が集まるまで、どのくらいを見込んであるのか?現在の個人会員数、その中でも年会費未納者があり、新規入会と退会者数が同じ状況の中、新しい仕組みはどのようにしているのか?

全国で競技会を行うにあたって、かなり地区連盟の負担が多くなるのではないかと?

サービス内容のコストはどのくらいかかるか?

倶楽部会員ゴルファーとノン倶楽部ゴルファーの考え方は同じなのか?

A.運用は、全てのシステムによって対応する。システム投資は、初期に5,000万円、その後2年で、2,000万円を投資し、合計で7,000万円を考えている。運営費は、3,500万円を予定しているが、システム運営は、全てのシステムで運用するので費用はかからない。ウェブ・サイトとの違いは、JGAハンディキャップを取得できることである。2万人の会員の確保は、ジュニア会員8,000名に対して当初年会費を無料にしていくことで、確保できる予定である。

但し、会員が集まらなかったらどうするかは、JGAも危惧している。GDO(ゴールドダイジェストオンライン)と比べるとサービスは低いと考えている。

【西田JGA理事】JGAは、加盟倶楽部メンバーとノンクラブメンバーにHDCCPを普及したいと考えている。理想と現実とのギャップをどうするか?課題である。UH競技は難しいことは分かっている。徐々に行っていく。

③小宮山副理事長より

Q.現在、既にある民間サービスとの違いは何か?例えばGDOとの差は、JGAハンディキャップの取得だけではないか?

A.トップアスリートゴルファーは、JGAにメリットを感じていると思う。

④稲川常務理事より

Q.全国のゴルファーへ、ハンディキャップを普及する為には様々な施策を取られることには賛成であるが、JGAが提案された諸事業の継続性を十分に考えてもらいたい。現在の小点数を使用しているハンディキャップは、本来のハンディキャップかそれともハンディキャップインデックスか?

A.ハンディキャップインデックスである。

⑤篠崎常務理事より

Q.JGAゴルフフェーズ倶楽部が、会費制で年会費を取ると募集は難しいと考える。また、財政面の裏づけが確立しているのか?

A.ハンディキャップを欲しいという気持ちにするべきである。財政面では、時代の流れから、個人のデータベース制度を立ち上げる必要がある。

⑥塚原常務理事より

Q.JGAの中・長期計画はどのように考えているのか。その中で、J-sysの計算を無料で出来ないか?

A.JGAは、3つの柱で考えている。その内容は次の通りである。

- (1)競技団体としてのあり方
 - (2)ゴルフの普及と発展
 - (3)ゴルファーへのサービス
- この3本柱を基本に政策を考え

ている。計算料を無料に出来るかは今後の検討であるが、維持費として加盟倶楽部年会費4位の5%、2,000万円を考えている。

⑦渡邊常務理事より

Q.ハンディキャップを取得した後、その活用をどのようにしていくか課題としてもらいたい。

⑧高橋常務理事より

Q.KGAのJ-sys投資が無駄にならないように考えてもらいたい。AJ-sysの内容を十分に理解していないので、これから把握していく。

以上、質疑のまとめとして、小宮山副理事長より次の通り発言があった。

●J-sysは、KGAとして30年間やってきた実績があり、携帯版も基本的な準備がなされている。提供に当たっては投資分は回収することになるが、ここで新しいシステムを考えていくよりも現在あるものを活用することが、財政面を含めて良いのではないかと考える。そのために、KGAは全力を挙げ協力を惜しまないことを決めているので、十分にJGAでご検討をしていただきたい。

本議題の審議終了後副日本ゴルフ協会関係者は退席された。

②加盟審査・変更及び退会勧告の件

①正会員加盟

玉川カントリークラブ(埼玉県)高橋常務理事より推薦発言があり、審査の結果、承認された。

②正会員より準会員への移行

鶴ヶ島カントリークラブ(埼玉県)事務局より以下の説明がなされ承認された。

平成17年7月1日付にて鶴ヶ島カントリークラブの運営形態について倶楽部名を「ゴルフ鶴ヶ島」と名称変更し、パブリック制ゴルフ場へ変更になった。このことにより、規約第6条正会員資格を喪失するが、今後は正会員から準会員への会員資格の変更を申請し、準会員として継続加盟していきたい

との申し出により変更届けが提出された。

③退会勧告

美野原カントリークラブ(群馬県)事務局より以下の説明がなされ承認された。平成16年5月10日再生債権届出書提出後2ヵ年経過した現在まで何も決まらない状況が続いている。再生手続中ではあるが「年会費の複数年滞納」要件により退会勧告を行う。

③理事退任の件

事務局より以下の報告がなされ承認された。平成18年3月26日付、田土部昭昭理事(相模原)、平成18年3月28日付、飯島周二理事(袖ヶ浦)が倶楽部内事情により退任されることとなった。欠員補充については任期が1年未満の為空席のままとし、次回総会で改めて選任することとした。

④平成18年度アンダーハンディキャップ選手権各都県ブロック大会会長選

9月より開催される平成18年度アンダーハンディキャップ選手権各都県ブロック大会の大会会長として常務理事、理事からの選任をお願いしている。配布資料の通りほぼ決定しているが未定のブロックについては事務局まで報告頂きたいとの要請があった。

⑤平成18年度後援競技の件

次の3競技とジュニア関連2競技の後援が承認された。

2006第2回茨城シニアアマチュアダブルスゴルフ選手権大会(主催 茨城新聞社)

2006第5回茨城女子アマチュアダブルスゴルフ選手権大会(主催 茨城新聞社)

2006第19回茨城アマチュアダブルスゴルフ選手権大会(主催 茨城新聞社)

●ジュニア関係

夏休みジュニアゴルフ教室(主催 熊谷市ゴルフ連盟)第12回群馬県ジュニアゴルフ・レスン&競技大会

(群馬県ゴルフ協会)

⑥財日本ゴルフ協会個人会員入会審査の件

6月29日現在申請のあった50名についてこれを承認し、財日本ゴルフ協会に名簿を提出することとした。また、事務局より6月29日現在のJGA個人会員数2,467人内関東地区1,264人との報告があった。

⑦その他

(1)相模原ゴルフクラブでの規則勉強会について

JGAに対しKGAとして規則部会の活動として行う旨の連絡を行い実施することとした。

(2)妙高サンシャインゴルフ倶楽部について

齋藤常務理事より妙高サンシャインゴルフ倶楽部の加盟復帰の件で発言があった。

内容は、当該倶楽部は平成17年に退会届が提出され、平成17年4月の第1回常務理事会において退会を承認されているが、その後、提出した退会届は事務上の間違いで当該倶楽部よりKGAへ加盟復帰の希望を受けているので、その承認を求める内容である。この件については、次の通り審議された。

●KGAにおいて休会制度は無いので、組織的に加盟復帰という手続は出来ない。

●正式に退会承認をしている状況の中では、再加盟の手続を踏むべきではないか。

●退会手続の事務的間違いについて、もう少し具体的な状況を提出させる必要がある。

●JGAとの関係の問題について、事務局で状況を把握する必要がある。

結果として、次回の常務理事会までの検討事項となった。

(3)財日本ゴルフ協会 安西会長の発言に関連して

稲川常務理事より安西会長のハンディキャップの小点数取扱がハンディキャップインデックスとの回答に対して発言があった。

内容は、JGAとして発給している現在の小点数数値が、ハンディキャップインデックスであると公式に回答をされたことにより、本年度の関東アンダーハンディキャップゴルフ選手権が小点数を使用したハンディキャップを採用した機関決定までの内容を確認することが求められた。この件については、事務局より7月10日(月)の理事会で報告することとした。

最後に、理事会・常務理事会の開催について確認された。

- 第2回理事会;7月10日(月) 12時 グランドアーク半蔵門
 - 第3回常務理事会;11月14日(火) 12時 グランドアーク半蔵門
- 全議事終了後、吉田理事長14時20分閉会を宣した。

平成18年度
第2回 理事会議事録

日時 平成18年7月10日(月)12時
場所 グランドアーク半蔵門
光の間

出席者 吉田理事長、小宮山、竹田副理事長
稲川、岩宮、大原、篠崎、高橋(正)、塚原、野口、広中、森川、渡邊常務理事
伊藤、井上、海老原、大鷲、尾関、黒澤、小坂、佐々木、下条、田村、塚本、貫井、林、平岩、平山、福嶋、福田、堀内、前川、宮坂、村山各理事
近藤、廣瀬各監事

定刻、吉田理事長、議長を務め開会を宣した。

事務局より理事56名中、委任状を含めた51名の出席となり、適法に成立した旨の報告の後、議事録署名者として、森川幸美常務理事、黒澤長利理事を指名し順次議題審議を行った。

—討議及び決議事項—

①JGAゴルフフェーズ倶楽部の件
小宮山副理事長より、平成18年7月3

日第2回常務理事会において、副日本ゴルフ協会安西会長以下4名よりJGAゴルフファーズ倶楽部について説明がなされた事を報告し、JGAの資料によりその概要説明がなされた。議場では活発な議論がなされた。小宮山副理事長からは、JGAハンディキャップシステムはKGAが30年かけて運営している、システムとしては確立しているものと思われている。JGAに対し本システムを有償ベースで提供する意思があることを申し述べているとの発言があった。

②平成18年度アンダーハンディキャップ選手権予選大会会長の件
事務局より資料に基づき各予選会、決勝の大会会長が選任されたことを報告し承認された。

③各分科委員会からの報告

以下の委員会より報告があり承認された。

- ①競技委員会 野口委員長
- ②コースレート委員会 大原委員長
- ③ジュニア委員会 大鷲委員長
- ④広報委員会 高橋委員長
- ⑤グリーン委員会 平山委員長

④競技会等連盟活動担当役員・委員に対する保険の件

事務局より資料に基づき傷害保険内容を見直し充実を図ったことを報告し承認された。

⑤平成18年度年会費未入金状況の件

事務局より資料に基づき平成18年7月6日現在年会費未入金が46倶楽部あると報告された。

⑥その他

事務局より資料に基づき、7月3日付第2回常務理事会承認内容が報告された。

①正会員加盟倶楽部・資格変更倶楽部及び退会勧告倶楽部の件

- 正会員加盟倶楽部
- 玉川カントリークラブ (埼玉県)
- 資格変更倶楽部 (準会員へ)
- Jゴルフ鶴ヶ島 (旧鶴ヶ島カントリークラブ) (埼玉県)
- 退会勧告倶楽部
- 美野原カントリークラブ (群馬県)

②退任理事の件

飯豊周二、田土部勝昭両理事の

退任

- ③第3回委員長会議
9月5日 (火) 12:00-15:00
- ④第3回常務理事会
11月14日 (火) 12:00-15:00
- ⑤第3回理事会
11月28日 (火) 12:00-15:00

全議事終了後、吉田理事長13時45分閉会を宣した。

平成18年度
第2回 コース・レート委員会議事録

日時 平成18年7月27日 (木)
午後2時
場所 グランドアーク半蔵門
出席者 大原委員長
大久保、岡田、
松岡各副委員長
生田、荻高、神津、阪田、
佐久間、内藤、中野、中部、
平本各委員

— 討議及び決議事項 —

①査定数値決定について

事務局より、配布資料を基に説明がなされ、全委員確認をした。査定倶楽部は以下のとおり。

- 太平洋クラブグループ査定
- 15年再査定
太平洋クラブ&アソシエイツ
高崎コース
太平洋クラブ軽井沢リゾート
(白樺・浅間コース)
太平洋クラブ 市原コース
太平洋クラブ 相模コース
太平洋クラブ 御殿場コース

新規査定

- 太平洋アソシエイツ
大洗シャウッドコース
太平洋クラブ&アソシエイツ
江南コース

新規査定

- 季美の森ゴルフ倶楽部
筑波東急ゴルフクラブ
武蔵丘ゴルフコース

15年再査定

- 富士カントリー笠間倶楽部
大利根カントリークラブ
イーストヒルゴルフクラブ

改造査定

- 中条ゴルフ倶楽部
ザ・カントリークラブ グレンモア

女子クラブ上査定

- 千葉カントリークラブ・
梅郷コース、野田コース

机上査定

- 取手国際ゴルフクラブ・西コース

②査定スケジュールについて

配布資料に基づき、順次日程を決定した。

新規査定

- 平成倶楽部 鉢形城コース
7月31日 (月)
- 三井の森軽井沢カントリー倶楽部
10月12日 (木)
- 武蔵の杜カントリークラブ
9月26日 (火)
- 玉川カントリークラブ
9月4日 (月)
- 鷹ゴルフ倶楽部 12月11日 (月)

15年再査定

- 相武カントリー倶楽部
8月24日 (木)
- 太平洋クラブ&アソシエイツ
益子コース 9月20日 (水)
- 船橋カントリー倶楽部
11月2日 (木)
- アスレチックゴルフ倶楽部
8月1日 (火)
- 長竹カントリークラブ 延期
- 源氏山ゴルフクラブ
10月26日 (木)
- 太田双葉カントリークラブ
8月31日 (木)
- スプリングフィールズゴルフクラブ
10月27日 (金)
- リバーサイドフェニックス
ゴルフクラブ 11月20日 (月)
- 金乃台カントリークラブ
11月13日 (月)

改造査定

- 佐野ゴルフクラブ 10月18日 (木)
- 霞ヶ浦出島ゴルフ倶楽部
9月6日 (水)
- 鹿島の杜カントリー倶楽部
10月31日 (火)
- 姉ヶ崎カントリー倶楽部・東コース
佐久間委員一任
- 武蔵松山カントリークラブ

- 岡田副委員長一任
龍ヶ崎カントリー倶楽部
9月15日 (金)
- カレドアン・ゴルフクラブ
11月17日 (金)
- 富里ゴルフ倶楽部 11月17日 (金)

③その他

(1)全国合同コース・レート研修会について
今年は関東が担当地区となっており、霞ヶ関カントリー倶楽部において11月21日 (火)~22日 (水)の予定で開催されることとなった。出席委員は後日決定する。

(2)難易度査定について
難易度査定をする際、グリーン以外の各項目の評価点数は整数で行なっているが、グリーンだけは大ききやアンジュレーションなどにより微妙な査定を要することから、関東では、グリーンだけに評価点数に「0.5」をつけている。今後「0.5」をつけるべきかどうか、今年の査定報告を基に精査し、必要であればKGAコース・レート委員会の方針として、JGAへ提出したい。

平成18年度
第2回 ジュニア育成委員会議事録

日時 平成18年6月20日 (火)
午後2時
場所 グランドアーク半蔵門 光の間

出席者 大鷲委員長
笠川、川島、嶋田、中島、
藤園、矢嶋各副委員長
麻布、荒井、稲富、岩田、
大野、小原、神谷、小林、
佐藤 (稔)、照山、東福寺、
中村、林、藤巻、堀田、前田、
三木、安間、和久各委員
細田、小野、
吉澤各郡県アマチュア団体委員
鈴木昭満規則部会長、
熊澤良一規則部会委員

— 討議及び決議事項 —

討議に先立ち、加藤事務局より開会を宣し、順次議題審議を行った。

①平成18年度春季・夏季ジュニア・ゴルフスクール、KGAジュニアゴルフ大会について
大鷲委員長より春季ジュニア・ゴルフスクールの総括が述べられ、各会場の担当副委員長より各会場の報告と反省事項が述べられた。

春スクール総括 (7会場にて実施)

- 申込み数が非常に多く、参加できないジュニアが多かった。
- 昨年以上に小学生が増加し、各会場共ほぼ半数を占める人数となった。
- 天候に恵まれた会場が多く、体調を崩すジュニアはほとんどいなかった。
- 指導者やスコアラーに対する暴言については繰り返し厳重注意していくこととする。
- 練習器具を取り入れたレッスンをこなうプロが増えてきた。
- 一日のスケジュールの中に「ルール勉強会」的なものを考えていきたい。
- ジュニアスクールのマニュアルを作成したい。

ジュニアゴルフ大会総括
(若洲ゴルフリンクス)

- 募集開始から一週間で満員 (高学年90名、低学年30名)となり、定員オーバーとなった100名に返金をすることとなった。電話対応を入れると約200名ほどであったと思われる。
- 開催時期の変更により、日射病や熱中症など、体調を崩すものがいなかった。高学年は最短のプレー時間で終了することができた。
- 朝のスコアラー説明会をやめ、スタート時にスタート担当委員から説明することにした結果、受付もスムーズに行き、後からの質問などもなくなった。
- クラブハウス内工事のために当日の運営が心配された。支障ない程度までに片付けていただいたものの、危険防止と騒音防止から工事の一時中止を申し入れた。

引き続き、大鷲委員長より夏季ジュニアゴルフスクール、ジュニアゴル

フ大会についての注意などが述べられた。予定通りスクール13会場、大会1会場で行われ、現時点の申し込み状況について、配布資料を基に事務局より説明をし、全委員確認をした。ジュニアゴルフ大会は、朝霧ジャンボリーゴルフクラブより茨城ゴルフ倶楽部に変更されることが発表された。

②平成18年度関東ジュニアゴルフ選手権予選、決勝競技について

配布資料を基に、大鷲委員長、事務局より今年度のスケジュール等の説明がなされ、全委員確認をした。毎年問題となっている過密スケジュールを少しでも緩和するため、今年は予選開催日を7月18日と24日の2日間 (2週)に分けた。指定練習日の大量欠席や委員出席の問題は解消されるものと思われる。今年は男子12歳~14歳の部の増加を考慮し、従来の藤ヶ谷カントリークラブより、鎌ヶ谷カントリークラブに変更をし、27ホール (3ブロック) で開催することとする。これにより、女子の部は藤ヶ谷カントリークラブで開催する。また、決勝競技は千葉カントリークラブ・梅郷コースで開催する。

③競技運営とルールについて

関東ジュニアゴルフ選手権競技、競技形式で開催されるジュニアゴルフ大会に備え、大鷲委員長、競技委員会規則部の鈴木昭満部会長、熊澤委員より競技運営とゴルフ規則についての講義が行なわれた。競技運営マニュアルとローカルルール原案を基に詳細な説明がなされたが、規則3-3やマーカー指定の意味など、ジュニアにとって必要な項目を中心に取り上げられた。また、委員からも活発な質問が数多く寄せられ、このようなたちでの講習会を望む声が多かった。大鷲委員より今後も継続的に開催していくことが発表された。

月例競技成績表

〔平成18年度6月月例〕平成18年6月16日(金) 大利根カントリークラブ・西コース

男子	ランク	スコア	氏名	倶楽部
	1	70	館 英樹	富士笠間
	2	72	野田 早人	大日向
	2	72	大田和桂介	ケントス
	2	72	吹野 耕一	都賀
	2	72	額賀 義朗	船橋

女子	ランク	スコア	氏名	倶楽部
	1	74	西村 友希	太平洋・ヒルクレスト
	2	74	木戸 愛	ロイヤルスター
	3	80	原田 沙織	富士平原

※優勝はプレーオフによる

〔平成18年度7月月例〕平成18年7月25日(火) 武蔵カントリークラブ・笹井コース

男子	ランク	スコア	氏名	倶楽部
	1	69	小平 智	鷹
	2	70	真田 雅彦	リバーサイドフェニックス
	2	70	高橋 藤太	ツインレイクス
	4	71	杉山 稔	総武
	4	71	亀井 隆	唐沢
	4	71	秋元 一男	相模原

女子	ランク	スコア	氏名	倶楽部
	1	74	原田 沙織	富士平原
	2	77	南雲 真理	岡部チサン
	3	78	折茂由美子	鹿沼

お知らせ

本号より競技成績の掲載は圧縮しております。競技成績の詳細はKGAホームページ (<http://www.kga.gr.jp>) の競技情報をご照会ください。

関東ゴルフ連盟「加盟倶楽部便覧」の変更事項は次記のとおりです。訂正加筆をお願い申し上げます。(8月18日現在)

倶楽部名変更

- (新) 霞南ゴルフ倶楽部
- (旧) 利根ゴルフ倶楽部
- (新) Jゴルフ鶴ヶ島
- (旧) 鶴ヶ島カントリークラブ
- (新) アクアラインゴルフクラブ
- (旧) カントリークラブ ザ・ファースト
- (新) 芝山ゴルフ倶楽部
- (旧) 富士カントリー芝山ゴルフ倶楽部
- (新) 太平洋アソシエイツ佐野
- ヒルクレストコース
- (旧) 太平洋アソシエイツ・ヒルクレストコース

理事長

- 菅平高原カントリー倶楽部
- (新) 若林 康朗 (旧) 赤羽 功
- 富士ロイヤルカントリークラブ
- (旧) 宇佐美 謙一(代行)
- 唐沢ゴルフ倶楽部
- (新) 佐野 正行 (旧) 吉澤 兵左
- セベ・バレストロスゴルフクラブ
- (新) 正岡 悟 (旧) 竹中 文良
- Jゴルフ鶴ヶ島
- (旧) 辻 義文
- 船橋カントリー倶楽部
- (旧) 若尾金之丞
- 赤羽ゴルフ倶楽部
- (新) 桐島隆之輔 (旧) 戸井 卓雄
- 府中カントリークラブ
- (新) 本山 寿照 (旧) 吉村 公男
- 相模原ゴルフクラブ
- (新) 五味 丈夫 (旧) 田土部勝昭

倶楽部代表者

- 富士ロイヤルカントリークラブ
- (新) 宇佐美忠紀 (旧) 宇佐美謙一
- (新) 宇佐美圭吾
- 唐沢ゴルフ倶楽部
- (新) 佐野 正行 (旧) 吉澤 兵左
- (新) 永井 成理 (旧) 藤沼 恒男

高麗川カントリークラブ

- (新) 木村 博一 (旧) 網島 春夫
- Jゴルフ鶴ヶ島
- (旧) 辻 義文 (旧) 工藤 善明
- 南総カントリークラブ
- (新) 扇能 俊夫 (旧) 上杉 定嗣
- 船橋カントリー倶楽部
- (新) 安藤 陽一 (旧) 若尾金之丞
- 赤羽ゴルフ倶楽部
- (新) 桐島隆之輔 (旧) 戸井 卓雄
- 東京よみうりカントリークラブ
- (新) 中保 章 (旧) 小谷 直道
- 府中カントリークラブ
- (新) 本山 寿照 (旧) 吉村 公男
- (新) 小林 慶一 (旧) 柴山 雄一
- 相模原ゴルフクラブ
- (新) 早川 雄吉 (旧) 田土部勝昭

支配人

- 新津カントリークラブ
- (新) 明道 宇弘 (旧) 城山 卓二
- 上野原カントリークラブ
- (新) 久木崎清人 (旧) 三田 豊彦
- セントラルゴルフクラブ
- (新) 牧長 一喜 (旧) 北峰 隆弘
- 取手国際ゴルフクラブ
- (新) 後藤 久(総支配人)
- 水戸・ゴルフ・クラブ
- (新) 辻 仁 (旧) 伊勢 智幸
- 高麗川カントリークラブ
- (新) 木村 博一
- (旧) 網島 春夫(総支配人)
- Jゴルフ鶴ヶ島
- (新) 伊豫部純一 (旧) 工藤 善明
- ノーザンカントリークラブ錦ヶ原ゴルフ場
- (新) 引間 敏行
- 東松山カントリークラブ
- (新) 山崎 茂晴(総支配人)
- (旧) 菅原 研(総支配人)
- 嵐山カントリークラブ
- (新) 塩原 明 (旧) 田村 和雄

アバディンククラブゴルフソサエティ

- (新) 山本 篤
- アクアラインゴルフクラブ
- (新) 高橋 俊彦 (旧) 鶴岡 忠男
- 芝山ゴルフ倶楽部
- (新) 富田 雄治(総支配人)

倶楽部電話番号 FAX番号

- 北の杜カントリー倶楽部
- TEL 0551-32-1111
- FAX 0551-32-1177
- 筑波学園ゴルフ倶楽部
- TEL 0296-75-5548
- FAX 変更無し
- 寄居カントリークラブ
- TEL 048-582-5550
- FAX 048-582-1831

東京事務所

- セベ・バレストロスゴルフクラブ
- 〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-22
- 虎ノ門30森ビル8F
- TEL 03-5733-1877
- FAX 03-5733-1878

会社名

- アクアラインゴルフクラブ
- (新) 横アコーディア・ゴルフ
- 浜野ゴルフクラブ
- (新) 横浜野ゴルフクラブ

所在地(市町村合併により 郵便番号
電話番号 FAX番号の変更はありません)

- 城里ゴルフ倶楽部
- 東茨城郡城里町徳蔵436-1
- 霞南ゴルフ倶楽部
- 稲敷市伊佐部1450
- 浜野ゴルフクラブ
- 市原市永吉937

定休日

- セベ・バレストロスゴルフクラブ 不定休

平成18年9月1日発行 KGA ニュース No.92
発行所/関東ゴルフ連盟 東京都千代田区麹町2-12 CTS麹町ビル3F TEL.(03)5275-0391 ホームページ <http://www.kga.gr.jp>
発行人/吉田 友明 編集/広報委員会